

令和6年度（2024年度）

京都市福祉ボランティアセンター事業

年 報

京都市福祉ボランティアセンター

（設置：京都市　運営：社会福祉法人京都市社会福祉協議会）

目 次

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況

- 1 概説
- 2 成果と課題
- 3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績
- 4 京都市福祉ボランティアセンター事業

II 各区ボランティアセンターの活動状況

- 1 区ボランティアセンター運営事業実施要綱
- 2 各区ボランティアセンターの活動状況

III 参考資料

資料 1 京都市福祉ボランティアセンター実績数値（概況）

資料 2 京都市福祉ボランティアセンター要綱等

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況



福祉ボラセンキャラクター「ふたば」



1 概説

多様な形で展開されているボランティア活動や当事者組織等に対し、施設・設備の提供、団体運営の活性化を目指した研修を行いました。また、相談・対応とあわせ、ボランティア講座を対面とオンライン配信で行う等、活動希望者と団体をつなぐ機会の充実に努めました。

一方、生活困窮や社会的孤立等を背景に、多様な生きづらさや課題が浮き彫りになっています。そうした当事者が自ら思いを発することで、理解促進や社会参加の機会を広げるよう、福祉教育や広報啓発等にも取り組みました。さらに、「kyoto ところつながるプロジェクト」でも、法人内連携により孤独・孤立への啓発等、取組を進めました。

また、京都市災害ボランティアセンターとして、令和 6 年の能登半島地震への被災地支援に取り組みました。併せて、京都市での発災に備えたセンター機能の強化と京都府災害ボランティアセンターをはじめ多様な機関・団体との連携の構築に努めました。

2 成果と課題

(1) 社協の総合力を活かした福祉教育の推進

市区社協をはじめ、様々な企業・団体及び活動組織との協働・連携し、当事者からの発信による福祉教育の推進に努めました。

「kyoto ところつながるプロジェクト」では、「つながるフェス」において関係機関やボランティア・当事者団体が参画し、ワークショップや体験を通じた市民との交流・出会いの場を創出しました。今後は、市・区社協間の連携や関係機関・団体との協働により生きづらさを抱える当事者と市民をつなぐ機会の一層の充実に取り組みます。

(2) 市・区災害ボランティアセンター事業・活動の充実

令和 6 年能登半島地震に際し、京都府災害ボランティアセンターとの協働でボランティアバスを派遣し、被災地支援にあたりました。

また、京都青年会議所との協定締結など連携拡大や、各区担当職員への研修、各区での訓練等にも協力に努めました。引き続き、効率的な災害ボランティアセンター運営にむけ ICT 導入等の検討、研修や出張講座による理解促進と人材育成強化、大学や企業とのさらなる連携具体化に努めます。

(3) 多様な主体との協働関係の構築と問題解決機能の強化

市区社協や多様な機関・団体と連携し、広報や助成等の運営活性化のための講座を開催し、団体活動を支援しました。認知症理解にむけた若者プロジェクトや、月刊誌・SNS をつうじた孤立や生きづらさ等への理解促進と、当事者や家族の社会参加の機会充実に図ります。

また、きょうと「こどもみらい笑顔便」では、「物価高騰の折、社会のつながりを感じた」との声がよせられるなど、子育て世帯への見守りと支援が求められており、引き続き、ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区、京都市等と協働して取り組みます。

3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績

(1) 社協の総合力を活かした福祉教育の推進

・「kyoto ころつながらるプロジェクト」

	実施内容
協働取組	・「つながるフェス」令和6年11月20日(日)ゼスト御池 河原町広場・寺町広場 ボランティア団体、関係団体等 15 団体出展 725 名 ・子ども居場所フェス 1,700 名 ・ころつながられ～わたしのお気に入り、私の日常、ワタシの気持ち～ 作品展示、ワークショップ(来場 443 名)
通年取組	イベント等: 15 団体・61 件・10,077 名、情報発信: 7 団体・13 件

・市域での「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

	テーマ	開催日	参加	テーマ	開催日	参加
市域開催	アルコール依存症 当事者家族	5 月 31 日	42	処方薬・市販薬の オーバードーズ当事者	9 月 13 日	39
	小児がん当事者家族	7 月 26 日	19	長期間闘病が必要な子ども たちの学習保障(当事者・支援者)	11 月 15 日	30
出張講座	不登校・ひきこもり 当事者家族	7 月 10 日	118	不登校・ひきこもり当事者 家族	10 月 11 日	27
	知的障がい児 当事者家族	7 月 19 日	41			

(2) 市・区災害ボランティアセンター事業・活動の充実

・ボランティアバスの派遣による被災地支援等(京都府災害ボランティアセンターとの協働)

実施内容	開催日	参加人数
「令和6年能登半島地震」による被災地派遣 【派遣先】七尾市災害ボランティアセンター	5 月 28 日-29 日	25
	6 月 4 日-5 日	24
ボランティアバス参加者による活動報告	5 月 26 日	26

・区災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの検証、設置運営訓練(17 回)

・京都青年会議所との協定締結など、企業・団体との連携強化

(3) 多様な主体との協働関係の構築と問題解決機能の強化

・月刊誌等による情報発信・課題の啓発

発行回数: 12 回/ 年、部数: 10,000/ 1 回、配布先: 2,100 か所

特集コーナー 38 団体紹介	ボランティア・セルフヘルプグループ、企業の社会貢献等活動、助成金・情報発信の活用、新メンバーの受入団体と運営のコツなど
情報コーナー 200 記事	ボランティア募集・提供、セルフヘルプグループ、イベント・講座、助成金など

・きょうと「こどもみらい笑顔便」(ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区、京都市等との連携)

8 月	12 月	3 月
西京区(61 件)	右京区(78 件)	南区(37 件)、上京・左京区(70 件)

4 京都市福祉ボランティアセンター事業

(1) 施設の提供

ア) ボランティアビューローの運営管理

市域で活動するボランティアグループ連絡会の活動が円滑に展開できるよう、ビューロー内に設置したロッカーの貸出及び、京都ボランティア協会と連携し、多くのボランティアの活動の場としてボランティアビューローを開放しました。

【ロッカーの貸出】 6 団体

【ボランティアビューロー利用者】 団体 284 団体、延べ 2, 142 名

イ) パソコンコーナーの運営管理(パソコンボランティアネットワーク連絡会との連携)

高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図るとともに、ボランティアの専門性をより高めることを目的に、京都市福祉ボランティアセンター利用登録団体の内、高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図ることを目的にパソコンボランティア団体等に対して講習スペース等の供用を行いました。

【利用団体】 5 団体他

【相談および講習への来所者】 延べ 2, 178 名

【対応ボランティア人数】 延べ 1, 503 名

ウ) センター施設、設備、備品の貸出(団体支援)

センター施設・設備・備品の貸出

センター開所日数	345 日	来所者・入場者数	延べ 68, 509 名
一日平均利用者数	198. 4 名	利用登録団体数	819 団体
ミーティング室利用	延べ 888 回	録音室利用	延べ 115 回
印刷機材利用	延べ 1, 809 回	パソコン利用	延べ 139 回
その他備品	延べ 183 回		

エ) 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)事務

ボランティア活動者に対するサポートとして、福祉の保険(ボランティア保険・行事保険等)の紹介・取次ぎを行いました。

【ボランティア保険加入者】 31, 597 名 【福祉行事保険加入者】 161, 643 名

【加入者による事故】 53 件

(2) 相談及び指導

ア) 助成に関する支援 民間助成、各種ボランティア表彰・顕彰に関すること

各種助成情報を収集し、ホームページやメールマガジン等で積極的に情報提供しました。また、団体・グループからの助成制度に関する個別相談にも、制度紹介や推薦などコーディネートを行いました。

【推薦団体数】 10 団体 【助成交付団体】 5 団体

【公募・推薦(令和6年度助成決定一覧)】

助成団体名、または基金名	推薦 件数	決定 件数	決定額
株式会社大塚商会 ハートフル基金	1	1	500,000 円
公益財団法人大和証券財団 ボランティア活動助成	1	1	300,000 円
一般社団法人親切会 関西支部寄付金	3	3	各 30,000 円

民間助成団体・福祉財団の助成事業申請に関わる連絡調整及び推薦

大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」推薦事務を、区社協との連携のもと実施しました。

【申請総数】6 団体・事業

【助成交付団体】6 団体・事業

各種表彰・顕彰等に対する推薦

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰への候補者推薦

〈厚生労働大臣表彰受賞者〉 手話サークル・サンシャイン

〈厚生労働大臣感謝状受賞者〉 洛西手話サークルたけのこ、そよかぜ会

京都市長表彰(社会福祉事業協助者関係)への候補者推薦

〈京都市長表彰受賞者〉【個人】14 名/【団体】9 団体

京都市社協会長表彰(社会福祉事業奉仕活動表彰)への候補者推薦

〈京都市社協会長表彰受賞者〉【団体】1 団体

社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 第 50 回産経市民の社会福祉賞〈選外〉

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 令和 6(2024)年度京都新聞福祉賞〈選外〉

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 令和 6(2024)年度京都新聞福祉奨励賞〈受賞〉

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 令和 6(2024)年度京都新聞福祉奨励賞〈選外〉

社会福祉法人読売光と愛の事業団 第 22 回読売福祉文化賞への候補者推薦〈選外〉

イ) ボランティア活動に関する相談・コーディネート

一般市民やボランティアグループ・団体、企業等の相談に対し、ボランティア及びその関連情報の提供や紹介、コーディネートを行いました。 【年間相談件数】1,174 件

〈内訳〉

相談者属性別			
一般市民	385	行政	68
VG・NPO	330	企業・団体	56
福祉施設	37	地域団体・役員	0
関係機関	39	学区社協	3
学校	23	老人クラブ	1
医療	12	その他	23

相談分野別	
高齢者	165
障がい者・児	118
児童・青少年	115
その他の福祉	343
医療・保健	6
災害	40

相談内容別	
V したい	138
V してほしい	95
V 情報発信	65
V 助成	87
V 保険	161
V 講座・研修	77

相談者属性別			
社協	147	不明	27
マスコミ	1		

相談分野別	
国際	5
環境	7
その他	234
不明	141

相談内容別	
V 施設・設備	133
V その他	194
子どもの居場所	0
物資の提供	28
不明	195

(3) 調査及び研究

ア) 運営委員会の開催

回	開催日	議題
第1回	令和6年5月20日(月)	・令和5年度事業報告(案)について ・令和6年能登半島地震による被災地支援活動 ・意見交換
第2回	令和7年3月4日(火)	・令和7年度事業計画(案)について ・意見交換

イ) 登録団体管理・分析 利用実態調査及び利用アンケートの実施

利用登録団体を対象にセンターの利用頻度や目的、設備や備品についてのアンケートを実施し、団体のニーズ把握に努めました。【送付数】370団体 【回答数】194団体

ウ) ボランティア受入に関するアンケートの実施

ボランティアーズ京都掲載団体・Let's ボランティア! ボランティア入門講座登壇団体を対象にアンケートを実施し、団体がボランティア受入体制を整えるヒントをボランティアーズ京都3月号に掲載しました。【送付数】36団体 【回答数】20団体

(4) 情報収集及び提供

ア) HP、SNS 等を利用した情報発信(個別ニーズへの対応強化)

本センター主催事業やボランティア関連情報及びボランティアグループ、市民活動団体からの情報等について、随時ホームページを更新して情報発信しました。

【アクセス件数】計118,723件(月平均:9,894件)

インターネット環境が整っていないボランティアグループなどに対し、FAX等で申し込みを受け付け、イベントや研修情報、ボランティア募集などの情報発信を支援しました。

【情報発信件数】406件

Facebook、X(旧twitter)、Instagramの3種類のSNSで、イベント・講座情報やボランティア募集等の情報発信を多世代に向けて行いました。

Facebook【回数】73件、X(旧twitter)【回数】73件、Instagram【回数】73件

メールマガジン(週刊・助成情報を含む)の発行により、利用者のニーズや利便性を考慮し、

適切で迅速な情報発信に努めました。

「助成金情報」の発信(随時)【登録者】688名 【回数】146回(331件)

イ) 機関紙(月刊誌)による情報発信・啓発・ボランティア活動振興

ボランティア活動を希望している人、関心のある人への情報提供のため月刊誌を発行しました。【発行回数】年間12回 【発行部数】各回10,000部 【内容】ボランティア活動促進・啓発等に係る特集記事、ボランティア募集、イベント情報、セルフヘルプ(自助)グループ情報、区ボランティアセンターからの情報等 【発送先】2,100か所

号	特集記事
4月号(233号)	そのお悩み、ボラセンで解決できるかも!
5月号(234号)	よろこびもいっしょに感じたい! 同じ苦しみを抱える仲間とともに
6月号(235号)	災害にそなえる 私たち、特に困るんです
7月号(236号)	ボラセンが縁結び団体♡団体
8月号(237号)	助活! 助成金でボランティア活動を充実させる
9月号(238号)	明日の元気を充電する場
10月号(239号)	入口はさまざま 誰かとつながれる場
11月号(240号)	“みんなが楽しい” ってどんな場??
12月号(241号)	話すことで自分が変わる!
1月号(242号)	巻き込む! 続ける! 企業の社会貢献
2月号(243号)	「見るだけ」を卒業! 発信してみよう、Instagram
3月号(244号)	新しいボランティアさんを迎える準備、できてる?

ウ) 福祉ボランティア活動に関する資料集積・提供

ボランティアパークでの配架資料 市内・全国の福祉・ボランティア団体・グループ等の広報物 1,053件(内訳: ボランティア募集情報79件、イベント・講座情報527件、団体情報・広報等365件、その他82件)ボランティア情報コーナー閲覧用の登録資料 福祉・ボランティア関連書籍、映像資料、報告書類など 2,743点 ※「ひと・まち交流館 京都」図書コーナー貸出用含む

エ) 団体・活動情報検索システムの管理運営

「団体・活動情報検索」システムでの、イベントや研修、ボランティア募集などの情報を発信の活性化にむけ、登録団体へアンケート・団体情報を更新の検討をしました。

【登録団体】191団体

オ) マスメディア(新聞、TV、ラジオ、ネット等)を活用した情報発信

京都新聞、市民しんぶん、テレビやラジオ局などマスメディアに対し、適時に講座やイベント情報等の提供を行いました。

(5) 講座・研修等の開催

ア) 人材育成に関わる研修の実施、調査、研究

グラフィック・レコーディング・セミナー

開催日	内容	人数
令和6年6月8日(土)基礎編	講師 三宅 正太 氏	32
令和6年7月13日(土)応用編		18
令和6年12月7日(土)基礎編		42
令和7年1月25日(土)応用編		8

はじめて主催する人のための Zoom 講座

開催日	内容	人数
令和6年7月5日(金)	基礎・応用 講師 京都市地域 IT アドバイザー会	9

Let' s ボランティア! ボランティア入門講座(対面)

開催日	内容	人数
令和6年4月15日(月)	「Let' s ボランティア! ボランティア入門講座」 講師 京都市福祉ボランティアセンター ゲスト	5
令和6年6月20日(木)		5
令和6年8月22日(木)	特定非営利活動法人京都運転ボランティア友の会(4月)	9
令和6年10月28日(月)	特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば(6月)	10
令和6年12月6日(金)	認定特定非営利活動法人京都自死・自殺予防センター(8月)	5
令和7年2月25日(火)	特定非営利活動法人音の風(10月)	5
	特定非営利活動法人京 自助具館(12月)	
	認定特定非営利活動法人アンビシャス(2月)	5



Let' s ボランティア! ボランティア入門講座(8月・12月)

Let' s ボランティア! ボランティア入門講座(配信)

開催日	内容	申込数
令和6年4月16日(火) -5月31日(金)	「Let's ボランティア! ボランティア入門講座」 講師 京都市福祉ボランティアセンター ゲスト 特定非営利活動法人京都運転ボランティア友の会(4-5月) 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば(6-7月) 認定特定非営利活動法人京都自死・自殺予防センター(8-9月) 特定非営利活動法人音の風(10-11月) 特定非営利活動法人京 自助具館(12-1月) 認定特定非営利活動法人アンビシャス(2-3月)	5
令和6年6月21日(金) -7月31日(水)		33
令和6年8月23日(金) -9月30日(月)		29
令和6年10月29日(火) -11月30日(土)		14
令和6年12月9日(月) -1月31日(金)		24
令和7年2月26日(水) -3月31日(月)		18

自分を守る～災害&からだ編～

開催日	内容	人数
令和6年6月22日(土)	講師 特定非営利活動法人日本教育再興連盟(ROJE) わたげプロジェクト 特定非営利活動法人お客様がいらっしゃいました.	36

マンツーマンで教わる! シニアのスマホ解決講座

開催日	内容	人数
令和6年11月25日(月)	講師 花パソ	11
令和7年2月14日(金)	講師 ぱそぼらんど京都	18

LINE スタンプをつくろう!

開催日	内容	人数
令和6年11月4日(月)	ボランティア団体の資金調達講座 講師 三宅 正太 氏 京都市福祉ボランティアセンター	13



自分を守る～災害 & からだ編～

LINE スタンプをつくろう!

ボランティアコーディネーター養成研修

開催日	内容	人数
令和6年6月21日(金)	ボランティアコーディネーター研修～基礎編～ 講師 永井 美佳 氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)	15
令和6年6月28日(金)	ボランティアコーディネーター研修～応用編～ 講師 南 多恵子 氏、村上 貴栄 氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)	11

Let' s チャレンジ! 助成金準備講座

開催日	内容	人数
令和6年5月29日(火)	講師 京都市福祉ボランティアセンター	12
令和7年2月21日(金)	講師 京都市福祉ボランティアセンター ゲスト 花パソ	15

助成金活用セミナー(市民活動総合センターと共催)

開催日	内容	人数
令和6年8月25日(日)	助成金を知ろう! 講義 助成金とは ワーク 助成金要項を読んで、 申請書に記入してみよう 参考 全国労働者共済生活協同組合連合会こくみん共済 coop 講師 特定非営利活動法人 きょうと NPO センター 土坂 のり子 氏	18
令和6年9月1日(日) (オンライン)	助成財団・企業と会おう! 話そう! 参加財団・企業の事業の説明等 ①公益財団法人オリックス宮内財団 ②公益財団法人電通育英会 ③公益財団法人キリン福祉財団 ④公益財団法人オムロン地域協力基金	23

助成金活用支援入門講座

開催日	内容	人数
令和6年6月24日(月)	大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」について 講師 京都市福祉ボランティアセンター	6

情報発信のコツ講座

開催日	内容	人数
令和6年12月1日(日)	今より伝わるチラシの作り方 講師 特定非営利活動法人やさしいデザイン 山中 美知世 氏	25
令和7年2月28日(金)	今より使えるインスタグラム 講師 特定非営利活動法人やさしいデザイン 山中 美知世 氏	21



ボランティアコーディネーター研修



情報発信のコツ講座今より使えるインスタグラム

イ) 福祉教育の推進

小中高生向け福祉教育の強化

学校や地域などにおいて、障がいのある人となない人が相互に交流する機会を広げることに
より、障がいや障がいのある人への理解を促進する取組であるほほえみ交流活動事業推進委
員会に出席しました。

出前講座の開発(全世代を対象とした講座プログラムの開発及び実施)

「思いを聴く～当事者・当事者家族～」新たな福祉教育推進事業

社会的に孤立しがちな人やその家族など誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するため、
区域や学校や企業などの単位で当事者やその家族の思いを発信し、地域社会の課題を我が事
として捉える機会を提供するため開催しました。

開催日	テーマ	ゲスト	依頼団体	人数
令和6年7月10日(水)	不登校・ひきこもり	上坂 秀喜 氏	京都市教育委員会 京都市 PTA 連絡協議会	118
令和6年7月19日(金)	知的障がい	富田 千果子 氏	嵯峨野学区社会福祉協議会	41
令和6年10月11日(金)	不登校・ひきこもり	上坂 秀喜 氏	京都市左京区社会福祉協議会	27

ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内 彩乃 氏

多様化する社会課題への理解の促進「思いを聴く」講座等

当事者や当事者家族から、自身の経験や支援者との出会い、支援者としての活動に至った経
緯や団体の活動などのこれまでの経験や変化、今そしてこれからの思いを発信していただく
場として開催しました。

「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

開催日	テーマ	人数
令和6年5月31日(金)	アルコール依存症 ゲスト 武市 智子 氏 (京都府断酒平安会 家族会みやび)	42
令和6年7月26日(金)	小児がん ゲスト 脇阪 武志 氏(株式会社福祉のヨアケ)	19
令和6年9月13日(金)	処方薬・市販薬のオーバードーズ(大量服薬) ゲスト Pills Anonymous 七条大宮グループ	39
令和6年11月15日(金)	長期間闘病が必要な子どもたちへの学習保障 ゲスト 羽田 萌々 氏、篠原 敦子 氏	30

ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内彩乃氏



思いを聴く(5月・7月)

(6) 活動者相互の交流の促進

ア) 当事者団体、ボランティア活動団体への支援及び連携強化

ほほえみ広場 2024 への協力

実行委員会構成団体として運営をサポートしました。ボランティアコーディネートを行い、YouTube 動画でボランティア講座を受講したボランティア 24 名が活動しました。

天皇盃 第 36 回全国車いす駅伝競走大会への協力

構成団体として運営をサポートしました。7 名の市・区社協職員がコーディネートを行い、スタート地点及び各中継所で 14 名のボランティアが活動しました。

ほほえみ交流活動事業への協力

学校と福祉施設との体験学習の調整を行いました。

開催日	内容	人数
令和6年10月22日(火)	衣笠小学校 4 年 「卓球バレーを通じた障がいの理解と交流」 講師 京都市洛南障害者授産所	38

開催日	内容	人数
令和6年12月4日(水)	松原中学校1年 「障害者授産所と身体障害者福祉会館の見学」 講師 京都市洛南障害者授産所	80
令和6年11月26日(火)	神川小学校4年 「車いす体験・当事者からのお話」 講師 京都市伏見障害者授産所 京都市伏見区社会福祉協議会	102

イ) 中間支援組織、大学、企業との連携によるボランティア活動振興

京都市市民活動総合センターとの連携し、助成金活用セミナーの開催、ボランティア・市民活動団体の活動支援を行いました。

開催日	テーマ	人数
令和6年9月9日(月)	連携のきっかけづくりのための交流 & ケーススタディ	15

共催 京都市市民活動総合センター、京都市青少年活動センター、京都市総合企画局

京都 SKY センターとの連携

京都 SKY センターが主催するボランティアイベントに出展し、高齢者にボランティア活動への参加のよびかけや活動紹介を行いました。

開催日	イベント
令和7年2月11日(火)	第4回 SKY ボランティア活動見本市

京都市長寿すこやかセンターとの連携

広報企画プロジェクトを開催し、若年性認知症当事者と大学生を中心とした30歳までの人とのボランティア活動支援を行いました。広報には公益財団法人京都市ユースサービス協会の協力を得ました。

【開催回数】8回 【参加人数(延べ)】93名

ボランティアイベントへの出展

大学ボランティアセンター等の主催するボランティアイベントに出展し、大学生にボランティア活動への参加呼びかけや活動紹介を行いました。

開催日	イベント	大学
令和6年6月19日(水)	ボランティアフェスタ2024	京都産業大学
令和6年11月15日(金)	ボランティアフェスティバル	佛教大学



連携のきっかけづくりのための交流 & ケーススタディ・ボランティアフェスタ2024

企業・団体等の社会貢献活動との連携

株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び京都市と協定を締結し、生活に困難を抱えた個人・世帯等への支援や地域社会福祉の推進を図るため、企業の社会貢献活動の一環として株式会社セブン-イレブン・ジャパン所有の商品の寄贈をうけました。寄贈商品は、センター及び各区社会福祉協議会を通じて、子ども食堂をはじめ、居場所活動を行うボランティア団体や障害者福祉施設、生活困窮者支援施設などさまざまな活動団体等に配分し、活用しました。

商品寄贈一覧表

配送日	寄贈店舗(所在地)	配送数
令和6年4月2日	1店舗(城陽市)	食品 3 雑貨 5
令和6年7月31日	1店舗(下京区)	食品 39 雑貨 4
令和6年11月28日	1店舗(伏見区)	食品 3 雑貨 0
令和6年11月29日	1店舗(上京区)	食品 9 雑貨 7
令和7年1月17日	1店舗(京都市)	食品 4 雑貨 2
令和7年2月21日	1店舗(伏見区)	食品 34 雑貨 15
計	6店舗	食品 92 雑貨 33

大学及び大学ボランティアセンターとの連携

「大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ宣言」参加の5大学と、災害ボランティア活動をはじめ、被災地視点活動について情報交換を行いました。

【5大学】 京都産業大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学

パートナーシップ宣言大学情報交換会

開催日	内容
令和6年8月27日(火)	1 令和6年能登半島地震への支援について 2 情報交換

ウ) 福祉ボランティア活動団体との連携

パソコンボランティアグループ連絡会「パソコンボランティアネットワークきょうと」

情報・IT機器を使用したボランティアグループによる連絡会を、情報交換、共同事業など相互の活動充実のため、本センターとして支援しました。【連絡会開催回数】2回

お客様がいらっしゃいました.との連携

生理の貧困から女性支援・性教育等に取り組む団体と、生理用品・日用品配布会を実施しました。【開催回数】3回

京都ボランティア協会との連携

ボランティア活動に関わる相談・コーディネートにおける連携・協働

(7) 災害ボランティア活動の推進

ア) 京都市災害ボランティアセンターの共同運営

役員会、運営会議の開催

会議	開催日	議題
役員会	令和 6 年 5 月 23 日 (木)	・ 令和 5 年度事業報告 (案) 及び決算 (案) について ・ 令和 6 年能登半島地震への支援活動について ・ 令和 6 年度京都市総合防災訓練について
	令和 6 年 11 月 (書面審議)	・ 京都青年会議所との「災害時におけるボランティア支援に関する協定」締結について
	令和 7 年 3 月 (書面審議)	・ 令和 6 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について
運営会議	令和 6 年 4 月 19 日 (金)	・ 令和 6 年度の事務局構成について ・ 令和 6 年度第 1 回役員会について
	令和 6 年 5 月 14 日 (火)	・ 令和 6 年能登半島地震被災地支援ボランティアバス運行について
	令和 6 年 6 月 21 日 (金)	・ 市民向け講座、及び職員研修について ・ 社会福祉予算対策活動について
	令和 6 年 8 月 16 日 (金)	・ 京都青年会議所との協定締結に向けて ・ 令和 6 年 7 月 25 日からの大雨による災害ボランティアセンターの動きについて ・ 運営マニュアルの読み合わせについて
	令和 6 年 10 月 22 日 (金)	・ 京都青年会議所との協定締結に向けて ・ 運営マニュアルの読み合わせについて ・ 京都市総合防災訓練について
	令和 6 年 12 月 20 日 (金)	・ 京都青年会議所との今後の取組について ・ 運営マニュアルの読み合わせについて
	令和 6 年 2 月 21 日 (金)	・ 令和 6 年度第 3 回役員会について ・ 令和 7 年度の取組について

研修、訓練、情報収集・発信等の関連事業の実施

京都市総合防災訓練への参加

令和 6 年京都市総合防災訓練において、京都市災害ボランティアセンター及び災害ボランティア活動の広報・啓発活動を行いました。

開催日	会場	内容	人数
令和 6 年 11 月 9 日 (土)	岡崎公園	①災害ボランティアの取組風景のパネル展示 ②災害ボランティアに関する動画上映 ③運営サポーター制度の啓発 ④備蓄用食料品などの配布	908

市・区災害ボランティアセンター関係機関職員の訓練機会の提供

市・区災害ボランティアセンター新任関係職員への研修の実施

開催日	内容	人数
令和 6 年 9 月 24 日 (火)	令和 6 年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当者新任研修 【講師】李 仁鉄 氏 (特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)	33

市・区災害ボランティアセンター関係職員を対象とする合同研修等の実施

開催日	内容	人数
令和 6 年 10 月 31 日 (木)	令和 6 年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当合同研修 【講師】鍋谷 隆史 氏 (社会福祉法人新潟市西区社会福祉協議会 事務局長補佐) 【ファシリテーター】李 仁鉄氏 (特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)	57

他都市災害ボランティアセンター等との連携

被災地へのボランティアバスの派遣

開催日	内容	人数
令和 6 年 5 月 28 日 (火) - 29 日 (水)	令和 6 年能登半島地震被災地へのボランティア派遣 【派遣先】七尾市災害ボランティアセンター	25
令和 6 年 6 月 4 日 (火) - 5 日 (水)	【活動内容】家財道具の搬出、災害廃棄物の撤出 【共 催】京都府災害ボランティアセンター	24



京都市災害ボランティアセンター研修会、令和 6 年能登半島地震被災地へのボランティア派遣

企業、大学等との連携、研修開催

京都青年会議所と「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を令和 6 年 11 月 29 日に締結しました。

災害対応における環境整備

水害時の支援活動に必要な水中ポンプ(8 個)を購入しました。

区災害ボランティアセンターの運営体制整備のため助成事業

行政区	内容
下京区	【開催日】 令和6年12月8日(日) 【区民啓発】 下京区総合防災訓練 【目的】 災害ボランティアセンターの啓発活動 【内容】 パネルなどを活用した普及啓発、防災グッズの配布
中京区	【開催日】 令和7年3月15日(土) 【区民啓発】 親子で学ぶ災害への備え 【目的】 災害に備え、小学生ができる防災を親子で学ぶことで地域や家庭での防災意識を高める 【内容】 防災に関する講義と講義内容に関わる実技

イ) 災害ボランティア講座の開催

災害時に活動する人材(災害ボランティアセンターサポーター)の育成を目的に関心のある市民を対象に開催しました。

開催日	内容	人数
令和6年7月21日(日)	令和6年度災害ボランティア入門講座 【講師】 京都市行財政局防災危機管理室 地域防災推進課長 一般社団法人ピースボート災害支援センター 遠藤 聡 氏 【内容】 「災害に強いまち京都」の取組について 防災、減災の基礎知識、「受援力」などに関する講義 防災カードゲームを使ったワークショップ	35

出張型災害ボランティア講座

開催日	依頼団体	人数
令和6年5月16日(木)	京都府立東陵高等学校	39
令和6年6月1日(土)	嵐山東学区社会福祉協議会	29
令和6年6月10日(月)	京都生活協同組合くらしの助け合いの会	15
令和6年6月19日(水)	京都産業大学ボランティアセンター	11
令和6年6月20日(木)	にこにこクラブ	20

ウ) 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練等の実施

区総合防災訓練の一環として、区民への区災害ボランティアセンターの周知、及び設置候補地でのセンター設置の検証を目的として、区社協及び区役所等と連携した訓練の企画・運営に関する支援を行いました。

区	開催日	会場	主な内容
北	①令和6年8月6日(火) ②令和6年10月27日(日)	①清明高校 ②鳳徳小学校	①関係者間での現地検証 ②区総合防災訓練で啓発
上京	令和6年5月9日(木)	同志社大学	設置候補地実地検証
左京	①令和6年11月25日(月) ②令和7年2月20日(木)	①花友はなせ ②山村都市交流の森	①事前研修 ②運営体制及び協力体制の確認
中京	①令和6年11月11日(月) ②令和7年3月21日(金)	①中京区役所 ②中京区社協	①設置運営訓練に向けた意見交換 ②災害VC資器材備品の確認
東山	令和6年11月24日(日)	京都美術工芸大学	市・区災害VCの啓発
山科	令和6年6月20日(木)	山科区社会福祉協議会	前年度設置運営訓練の振り返り 被災地派遣の情報共有 マニュアルの読み合わせ
下京	①令和6年11月28日(木) ②令和6年12月8日(日)	①京都産業大学むすびわざ館 ②梅小路公園	①設置候補地での現地視察及び 意見交換 ②区総合防災訓練での啓発活動
南	①令和6年7月24日(水) ②令和7年2月26日(水)	南区社会福祉協議会 及び南区役所別館	設置運営訓練
右京	①令和6年10月26日(土) ②令和7年1月17日(金)	右京ふれあい文化会館 及び太秦安井公園	①区民ふれあい文化フェスティバル での啓発活動 ②設置候補地視察及び災害VC 初動シミュレーション
西京	令和7年3月21日(金)	京都市西文化会館 ウェスティ	災ボラ事例の共有 設置候補地の視察及び意見交換
伏見	令和6年12月8日(日)	桃山中学校	伏見区災害ボランティアセンター 設置・運営マニュアルに基づいた 運用訓練他

災害時要配慮者支援に関する研修会

開催日	内容	人数
令和7年2月23日(日)	令和6年度災害時要配慮者支援研修 「～災害に備える～ わたしと地域の防災力の向上」 【講師】 荒木 裕子 氏 (京都府立大学 生命環境学研究科 准教授)	42

(8) その他事業

ア) 区ボランティアセンター(区社協)との連携・協働

「地域福祉コーディネーター会議」(地域支援部と共管)を開催し、各区ボランティアセンター事業の進捗確認、相談対応による地域(生活)課題とその解決に向け、協議しました。

また、区ボランティアセンター事業担当者を対象に意見交換会を開催し、事業概要の説明及び、意見交換することで理解を深め、担当者間の横のつながりづくりに努めました。

イ) 共同募金配分金事業の調整

- ・kyoto ころつなぐるプロジェクトの開催
- ・地域福祉情報発信事業(広報誌「福祉のまちづくり」の発行)
- ・障害者団体活動助成(一般募金、NHK 歳末たすけあい)

ウ) 「kyoto ころつなぐるプロジェクト」の実施

すべての人が、つながり支え合い、多様な価値観を認め合う社会を目指して、市区社協総体で「kyoto ころつなぐるプロジェクト」を開催しました。

市区社協・事業所を含めた取組(通年)

【イベント等】15 団体・61 件・10,077 名、【情報発信】7 団体・13 件

つながるフェス(ボランティア支援部の主管事業)

開催	内容	人数
令和 6 年 10 月 20 日 (日)	【会場】ゼスト御池 河原町広場 【テーマ】出会い、つながる、きっかけの場 【内容】ボランティア団体のワークショップや体験コーナー、 ボランティア相談など 【参画団体】京都民事調停協会、京都人権擁護委員協議会、京 都府共同募金会、京都車いす点検ボランティア「スマルク」、京都教育サポートセンター、京都ボランティア協 会、京都障害者スポーツ振興会、ばそぼらんど京都、京都 いのちの電話、チャイルドライン京都、京都市手話学習会 「みみずく」、京都市地域 IT アドバイザー会、京都市社協 (京都市長寿すこやかセンター、京都市福祉ボランティア センター)「認知症広報企画プロジェクト」	725 名

エ) きょうと「こどもみらい笑顔便」の実施

支援が必要な子育て家庭への食品等の配送や LINE アプリ等を活用した情報発信等により、気軽に相談できる関係づくりと、課題や困りなどさまざまな支援等へつなぐ取組をライオンズクラブ国際協会 335-C 地区、京都市等との連携・協働により進めています。

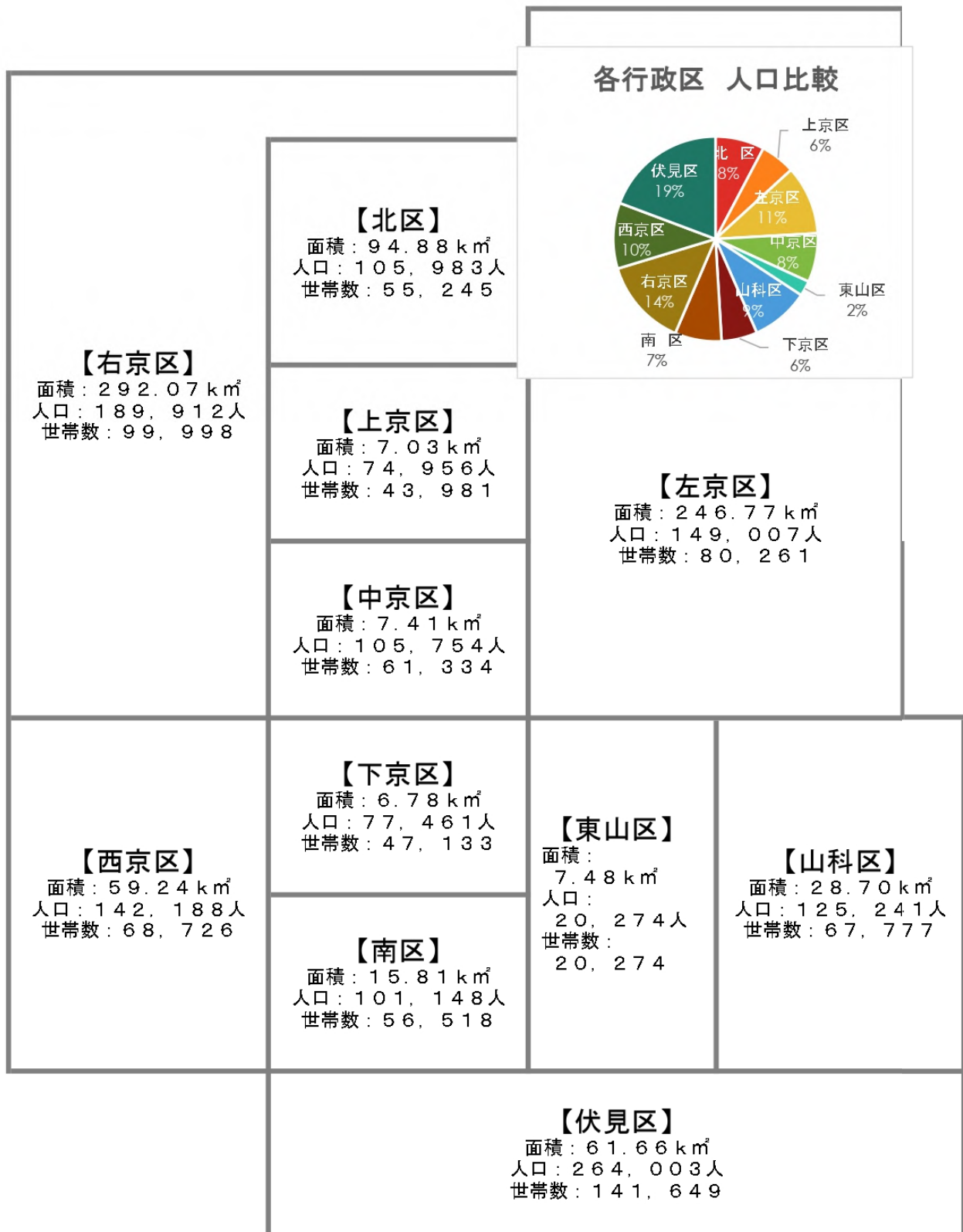
今年度は上京区、左京区、南区、右京区及び西京区の一部地域において実施しました。

	梱包作業	配送日	利用世帯数
第 15 回	令和 6 年 8 月 21 日(水)	令和 6 年 8 月 21 日(水)－ 8 月 23 日(金)	61
第 16 回	令和 6 年 12 月 12 日(木)	令和 6 年 12 月 12 日(木)－ 12 月 13 日(金)	78
第 17 回	令和 7 年 3 月 11 日(火)	令和 7 年 3 月 11 日(火)	37
第 18 回	令和 7 年 3 月 18 日(火)	令和 7 年 3 月 18 日(火)－ 3 月 19 日(水)	70

Ⅱ 各区ボランティアセンターの活動状況

各区の概要（令和 7(2025)年 4 月 1 日現在）

京都市統計ポータル「住民基本台帳人口」より引用



1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有
	【貸出し件数】86 件
	【延べ利用人数】677 名(※共有の場合は VG のみをカウント)
	機材の貸出し
	【貸出し件数】500 件(うち、印刷機器 293 件、その他 207 件)
	【貸出し物品】車椅子、液晶プロジェクター、スクリーン、アンプ付ワイヤレスマイク、DVD デッキ
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】199 団体 2,315 名
	【行事保険】158 件 12,196 名
	活動への助言、指導、支援など
	随時実施
	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】北区ボランティア広報誌
	【回数】年 1 回発行(3 月)
	【発行部数】4,500 部
3. 災害対策のための環境整備事業	その他広報物、報告書類等の発行
	【その他広報物】各種講座チラシ、市民しんぶん区民版による情報発信、包括との連携により災害への「備え」シート作成
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり
	人材育成、啓発、ネットワーク
	なし
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)北区総合防災訓練
	【日時】令和6年11月24日(日) 9:00-11:30
	【参画内容】防災会議への参加及び訓練見学
	【参加者層・数】防災関係団体、地域関係団体、鳳徳学区住民等約 170 名
	(2)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」
4. その他／1 相談・コーディネート事業	※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター
	【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30
	【参加者数】42 名
	【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	(1)北区災害ボランティアセンター設置運営訓練
	【日時】令和6年8月6日(火) 15:30-17:10
	【場所】京都府立清明高校
	【参加者数】計 6 名
	【内容】防災時の速やかな設置・運営に向けて区役所担当者と清明高校と調整を行った。
	実施体制
	【実施体制】職員 3 名体制で実施
	【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応
	相談対応内容
	【件数】221 件
	【主な相談内容】
	(1)ボランティアしたい／してほしい
	(2)ボランティア保険について
	(3)子どもの居場所づくりについて など
	コーディネートを伴う事業
	なし
	ボランティアの把握
	合計 3,558 名
	集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例：育成会、身障連、老人クラブなど)

調査及び研究	4. その他／2	調査・研究活動 なし
	4. その他／3	講座・研修等の開催 (1)点字教室 【日時】令和7年3月1日(土) 10:00-11:30 令和7年3月15日(土) 10:00-11:30 【開催回数】2回 【参加者】延べ20名 【内容】視覚障がい者による講演と点字体験 (2)ボランティア入門講座 【講座名】学生さんに聞こう! スマホの使い方 【日時】令和7年2月15日(土) 10:00-、11:00- 【開催回数】2回 【参加者】延べ29名 【内容】スマホの使い方を教える活動の実践とフィードバック (3)小学校における福祉教育プログラム 【期間】通年(計20日) 【参加者層】4年生:4校・延べ243名、5年生:2校・延べ146名、1-6年生:1校・延べ90名 【実施校】上賀茂小学校、待鳳小学校、鳳徳小学校、紫竹小学校、元町小学校、紫明小学校、大宮小学校 【実施協力団体】学区社協、学区民協、京都市北区視覚障害者協会、京都市聴覚障害者協会、NPO法人ALIZE、京都ライトハウス、 終野・鳳徳・紫野各地域包括支援センター、北区・上京区在宅医療・介護連携支援センター 【内容】聴覚障がい、視覚障がい、身体障がい、高齢(認知症)、地域福祉の5つの理解が進む体験プログラムを用意し、学校からの申請に基づき実施するもの。
の交流の促進	4. その他／4	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】理事会・評議員会 【開催回数】3回 【構成団体数】52団体 【構成団体名】学区社協・社会福祉事業施設・区民協・社会福祉事業団体・社会福祉関係団体・学識関係者・社会福祉関係公務員 【議事内容】令和6年度事業報告並びに決算報告・令和7年度事業計画並びに予算 ボランティアグループ連絡会 なし



令和7年2月15日(土)ボランティア入門講座「学生さんに聞こう! スマホの使い方」

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	貸出しなし
	機材の貸出し
	【貸出し件数】183 件(うち、印刷機器 105 件、その他機材 78 件) 【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、紙折り機、ペーパーカッター、丁合機、高齢者疑似体験グッズ等
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】90 団体 1,473 名 【行事保険】135 件 11,187 名
	活動への助言、指導、支援など
	学区社協相談会開催 子ども食堂立ち上げ支援、ボランティアグループ・市民活動団体の運営の助言など
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「上京区社協だより」 【回数】年 1 回発行(11 月) 【発行部数】29,000 部
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】 市民しんぶん上京区版での「区社協通信」記事掲載(毎月 15 日発行) 正親学区広報紙「正親だより」への寄稿を通じた情報発信
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり 随時更新 【その他】Facebook、Instagram による情報発信、情報コーナーによる発信
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	(1)区防災会議への参画 (2)自主防災協議会本部会議への出席 (3) ア. 上京の子どもまつり 2024 へのブース出展 ①防災お菓子ポシェットづくり～お菓子で備蓄を考えよう～ ②上京こども応援団 各団体紹介ブース 【日時】令和 6 年 6 月 9 日(土) 【参加者】児童 50 名、保護者数名、子どもの居場所運営団体 【内容】お菓子ポシェットづくりを通じて防災について考えてもらうきっかけづくり、上京こども応援団紹介コーナーを設置し、子どもの居場所の周知。
	イ. 正親学区防災一日デーへの協力 【日時】令和 6 年 6 月 15 日(土) 【参加者】児童 58 名、PTA 役員、正親学区役員、消防、警察、区役所、区社協 【内容】お菓子ポシェットづくりを通じて防災について考える、地域の人と子どもたちが顔馴染みになるきっかけとなることを目的に実施。
	ウ. 正親学区児童防災学習への協力 【日時】令和 6 年 12 月 16 日(月) 13:55-15:00 【参加者】児童 30 名、保護者数名、正親学区役員、区役所、区社協 【内容】高齢者疑似体験セットを貸出して、装着の仕方や高齢者の身体についての説明。
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)令和 6 年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和 7 年 3 月 23 日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和 6 年 5 月 9 日(木) 10:00-11:00 【場所】寒梅館 【参加者層・数】同志社大学 3 名、区役所職員 2 名、京都市文化市民局 2 名、ボランティア支援部 2 名、区社協職員 3 名 【内容】災害ボランティアセンター設置マニュアルの詳細や具体的な動きについて確認を行い、災害ボランティアセンターのイメージを具体化するとともに、平時から区社協で準備しておく必要があること、区役所へ確認が必要なことをそれぞれ洗い出し、今後の検討課題とすることを目的に訓練を実施。次年度以降は、候補地の使える場所を把握し、現地検証をして具体的な動きを確認する。

4. その他／1 相談コーディネート事業	実施体制
	【実施体制】職員 3 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月・金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話 FAX・E メールによる対応
	相談対応内容
	【件数】280 件 【主な相談内容】 ボランティアの紹介、地域活動、備品貸出等 コーディネートを伴う事業
4. その他／2 調査及び研究	【事業名】知恵シルバーセンター事業の運営 【件数】4 件 【延べ人員】30 名 【主なコーディネート内容】相談者への対応
	ボランティアの把握
	合計 1,473 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例: 育成会、身障連、老人クラブなど)
	調査・研究活動
4. その他／3 講座・研修等の開催	【名称】上京区子どもの居場所紹介ページの更新 【成果物】 (1)「子どもの居場所紹介ページ」・・・区社協ホームページ内に開設。 (2)上京ふくしまップの作成、編集、公開
	講座・研修等の開催
	手話講座 【講座名】はじめての手話講座 【日時】(1)令和 7 年 2 月 18 日(火) (2)令和 7 年 2 月 25 日(火) 【開催回数】2 回 【参加者】延べ 62 名(各回の参加者数: (1)35 名 (2)27 名) 【内容】京都市聴覚障害者協会 上京支部・京都市手話学習会「みみずく」との共催で、区民向けの手話講座を開催。子どもから高齢者まで幅広い層が参加。毎年、定員を超える申し込みがあり、今年度は枠を拡大。関心が高いことを実感している。講座終了後には、みみずくの例会の紹介を行い、手話表現の広がりを学ぶきっかけをつくった。
	区ボランティアセンター運営委員会
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	【名称】】理事会・評議員会 【開催回数】6 回 【構成団体数】60 団体 【構成団体名】区内学区社協、社会福祉施設、各種団体等 【議事内容】ボランティアセンターの振興について
	ボランティアグループ連絡会
	【名称】上京こども応援団(上京区子どもの居場所情報交換会) 【開催回数】1 回 【加入団体数】25 団体 【加入団体名】区内子どもの居場所、幼稚園・保育園・小中学校、関係機関など 【主な議題】 (1)ネットワークづくりについて (2)各居場所の活動について情報交換



令和 7 年 2 月 18 日(火)・2 月 25 日(火) 「はじめての手話講座」

令和6年度左京区ボランティアセンター事業実施報告書

京都市左京区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有 ※事務所移転のためボランティアビューロー(会議室)の貸出しは12月20日まで
	【貸出し件数】70件
	【延べ利用人数】1,644名
	機材の貸出し
	【貸出し件数】172件(うち、印刷機器100件、その他機材72件)
	【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、延長コード、ワイヤレスアンプ、マイク、点字器、缶バッジ製造機
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】122団体 2,149名
	【行事保険】413件 10,144名
	活動への助言、指導、支援など
	助成金情報の提供、地域住民から寄付物品について寄付先(団体・施設)の紹介、健康すこやか学級への講師派遣、学区の研修会の相談・講師コーディネート、子どもの居場所運営者間の連携サポート、地域から子ども食堂への寄付の相談支援、ボランティア相談者の学区社協・団体・施設へのコーディネート、子どもの居場所立ち上げ相談、学習支援ボランティア希望者への見学サポート
	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「さきょうくしゃきょうだより」第50号
	【回数】年1回発行(1月)
	【発行部数】59,400部
	その他広報物、報告書類等の発行
3. 災害対策のための環境整備事業	【広報物・報告書など】(ボランティアセンター紹介チラシ、ボランティアグループ連絡会紹介チラシなど)
	(1)「令和6年度左京区ボランティアセンターボランティアグループ連絡会からお知らせ」(ボランティア募集チラシ)
	(2)「令和6年度左京区地域の活動場所MAP」(ボランティアグループ連絡会、居場所活動、学区社協主催の居場所の一覧)
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNSの開設】あり
	【その他】子どもの居場所登録団体用区社協公式LINE(1月開設)
	その他
	令和6年度左京区民ふれあいまつり
	【日時】令和6年11月4日(月・祝) 10:00-14:00
	【参加者層・数】左京区民1,000名
	【主な内容】
	(1)区ボランティアセンターの紹介
	(2)子どもの居場所活動の認知度アンケート
	(3)あかりちゃん缶バッジの作成
	(4)左京区内のボランティア活動団体の紹介
	人材育成、啓発、ネットワーク
	ボランティア団体と自主防災会との連携サポート、ボランティア団体と児童館との連携サポート
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)左京区防災関連事業等に係る説明会
	【研修会名】左京区防災関連事業等に係る説明会
	【日時】令和6年5月14日(火) 15:00-17:00
	【参加者層・数】自主防災会30名
	【主な内容】災害ボランティアセンターの説明・啓発
	(2)地域の防災研修会・訓練への参画
	【研修会名】「吉田学区 総合防災訓練の集い」災害時の支え合いにつながる地域の「つながり」づくりの推進 ～障がいのある方の防災訓練参加の促進～
	【日時】令和6年12月1日(日) 9:00-12:00
	【参加者層】吉田学区民、吉田学区社協、よしだ学園、ひかり学園、京都手をつなぐ育成会左京支部
	【参加者数】300名
	【主な内容】
	ア. 防災訓練
	イ. 吉田学区民と吉田学区社協、よしだ学園、ひかり学園、京都手をつなぐ育成会左京支部との交流
	(3)左京区総合防災訓練への参画
	【日時】令和6年12月8日(日) 8:30-11:40
	【会場】京都市立養徳小学校
	【参画内容】災害ボランティアセンターの説明・啓発

	【参加者層・数】養徳自主防災会、自治連合会、学区社会福祉協議会、消防団、福祉施設、町内ボランティア、避難行動要支援者、各学区自主防災会、府議会議員、市議会議員、包括支援センター、地域住民 400 名 (4)令和 6 年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和 7 年 3 月 23 日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。 区災害ボランティアセンターの環境整備 (1)左京区災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ア. 【日時】令和 6 年 11 月 25 日(月) 14:00-15:30 【会場】花友はなせ 【参加者層・数】学区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会、学区自治振興会、学区自主防災会、医師会、警察署、左京北地域包括支援センター、介護事業所・施設、左京区役所防災担当、区災ボラ担当計 23 名 【主な内容】 ①北部地域で災害が発生した際の災害ボランティアセンターの仕組みの説明 ②発災時における災害ボランティアセンターの仕組み、災害時の地域の役割の協議 ③地域が災害時に懸念している点について意見交換 イ. 【日時】令和 7 年 2 月 20 日(木) 10:30-11:30 【会場】京都花背リゾート山村都市交流の森 【参加者層・数】京都花背リゾート山村都市交流の森、京都市産業観光局、左京区役所総務防災担当、区災ボラ担当 合計 7 名 【主な内容】 ①北部地域における災害ボランティアセンターの仕組み(サテライト機能) 1. 受付、マッチング、オリエンテーション 2. 車両 3. 資機材の受取、報告書記入・提出 ②設置に伴う場所の提供 1. 休憩場所 2. 使用した資機材の洗浄 3. 駐車場 4. 資機材置場 5. 設置時の使用料、水光熱費、ごみ処理関係 6. 鍵の受渡方法
4. その他／1 相談コーディネート事業	実施体制 【実施体制】職員 2 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談：月～金 8:30-17:15 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応 ボランティア登録用紙を左京区社協ホームページに掲載し、区社協へ送信・送付後に初回面談の日程調整を行う 相談対応内容 【件数】186 件 【主な相談内容】 地域の福祉サービスに関する問い合わせ、ボランティア活動(活動先、寄付先等)に関する相談、生活福祉資金貸付に関する相談 コーディネートに伴う事業 なし ボランティアの把握 合計 1,020 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究 4. その他／2	調査・研究活動 【名称】第 3 回左京区わたしたちの暮らし・ふれあいアンケート (第 5 期活動計画に向けたアンケート内で活動参加へのアンケート項目) 【成果物】なし
開催 講座・研修等の 4. その他／3	講座・研修等の開催 (1)認知症サポーター養成講座 ア. 【講座名】修学院中学校認知症サポーター養成講座(1 年生) 【日時】令和 6 年 11 月 13 日(水) 14:20-15:10 【開催回数】1 回 【参加者】194 名

4. その他／3 講座・研修等の開催	【内容】 事前研修 11 月 6 日(各教室にて認知症の 4 事例に関する VTR を鑑賞後、グループワーク及びアンケート回答) ①体育館参集型で実施 ②事前授業で学習した事例及び生徒からの質問について解説 ③包括支援センター「認知症とは」 ④社協「サポーターとして心がけること」 ⑤学区社協会長「サポーターの皆さんに期待すること」 ⑥まとめ、アンケート記入 イ. 【講座名】修学院中学校認知症サポーターフォローアップ講座(2 年生) 【日時】令和 6 年 11 月 1 日(水) 14:20-15:10 【開催回数】1 回 【参加者】201 名 【内容】 体育館参集型で実施 ①地域包括支援センター「事例紹介」 ②各班に分かれて、地域の方(学区社協、民生、ボランティア)と生徒でグループワーク、4 班から発表 ③地域包括支援センターより事例の解説 ④学区社協会長からのメッセージ「サポーターの皆さんに期待すること」 ⑤まとめ、アンケート記入 ウ. 【講座名】下鴨小学校認知症あんしんサポーター養成講座 【日時】令和 6 年 12 月 6 日(金) 10:45-12:10 【開催回数】1 回 【参加者】56 名 【内容】 ①オリエンテーション ②DVD 鑑賞 ③講話(左京北地域包括支援センター) ④寸劇(下鴨学区社協、サービス事業所) ⑤グループワーク後、発表 ⑥まとめ エ. 【講座名】葵小学校認知症あんしんサポーター養成講座 【日時】令和 7 年 3 月 7 日(金) 10:45-12:10 【開催回数】1 回 【参加者】90 名 【内容】 ①オリエンテーション ②DVD 鑑賞 ③講話(左京北地域包括支援センター) ④寸劇(葵学区社協、サービス事業所) ⑤グループワーク後、発表 ⑥まとめ (2)左京区ボランティア講座 【日時】令和 6 年 9 月 21 日(土) 13:30-15:30 【開催回数】1 回 【参加者】25 名 【内容】 ア. 講座の目的について イ. 登壇 3 団体から各団体の活動紹介・体験 ①あたたかいハート ②京都市要約筆記サークル「かたつむり」左京支部 ③京都市手話学習会「みみずく」左京支部 ウ. 区ボランティアセンターからのお知らせ ①アンケート記入 ②各団体と参加者の交流
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】令和 6 年度 第 3 回事業財政・検討委員会 【開催回数】1 回 【構成団体数】8 団体 【構成団体名】 (1)学区社協(川東学区社協、大原地域社協、岡崎学区社協、松ヶ崎社協、八瀬社協、別所学区社協) (2)区民生児童委員会 (3)公社会福祉事業施設(花友しらかわ、ワークセンターHalle!、高野児童館) (4)社会福祉事業団体(左京区身体障害者団体連合会) (5)社会福祉関係団体(左京区地域女性連合会)

4. その他／4活動者相互の交流の促進	(6)ボランティアグループ(左京区ボランティアグループ連絡会) (7)左京区役所健康福祉部 (8)京都府立大学 【日時】令和7年3月10日(月) 10:00-12:00 【議事内容】 (1)地域福祉活動計画5期(案)について (2)区ボランティアセンター事業について ア. 区役所交流スペースを利用した居場所について イ. 防災支え合いソシダナについて (3)区社協事業・財政について ア. 令和6年度 事業報告(案)について イ. 令和7年度 事業計画・当初予算(案)について
	ボランティアグループ連絡会 【名称】左京区ボランティアグループ連絡会 【日時】令和6年5月10日(金) 13:30-15:00 【開催回数】1回 【加入団体数】24団体 【加入団体名】 (1)高齢者関係 7団体 葵ビエロ小物づくりボランティア、さゆり会、配食ボランティア葵、ひとりぼっちのお年寄りをなくす会、さくらんぼの会、配食サービスあんずの会、フーちゃんの笑顔のつどい (2)子ども関係6団体 子ども文庫やかまし村、図書館友の会けやき、わく星学校、SKYおもちゃ病院、子育てママ支援サークル★はじめのいっぽ、子育てボランティアさくら会 (3)障がい者関係6団体 下鴨おもちゃの会、パセリクラブ、京都市手話学習会「みみずく」左京支部、京都市要約筆記サークルかたつむり左京支部、たかのおもちゃライブラリー、あたたかいハート (4)その他5団体 ボランティアあゆみの会、救援ボランティア左京SRV、断酒平安会左京支部、まちの縁側ぽかぽか茶屋、手作りアート「るーぷアート」 【主な議題】 (1)令和6年度連絡会の代表・副代表の紹介 (2)共同募金配分事業によるボランティアグループ活動助成金について (3)ボランティア講座について (4)左京区ふれあいまつりについて (5)福祉教育について (6)第3回左京区わたしたちの暮らし・ふれあいアンケートについて



令和6年9月21日(土)「左京区ボランティア講座」

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】365 件 【延べ利用人数】2,960 名(※共有の場合は VG のみをカウント)
	機材の貸出し
	【貸出し件数】1,112 件(うち、印刷機器 1,006 件、車椅子 65 件、その他機材 41 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオプロジェクター、レクリエーション器具他
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】93 団体 1,346 名 【行事保険】176 件 4,188 名
	活動への助言、指導、支援など
	(1)民間助成の周知および推薦: 高齢者団体助成(4 団体)、子どもの居場所助成(8 団体) (2)講師: 京都洛陽ライオンズクラブ、中京区はぐくみネットワーク、中京区要保護児童対策地域協議会代表者会議及び中京区子育て支援連絡会議、朱一小学校、「中京区の子どもの居場所」 (3)2024 年度事業評価ヒアリング 京都市ユースサービス協会 外部協力者として
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「べんからごうし」48 号 【回数】年 1 回発行(9 月) 【内容】 (1)好きなことや日常を紹介するいきいきさくひんてんを開催 (2)中京区でいまアツい!! 子どもの居場所 (3)学区社協の取組もアツい!! 「健康すこやか・学級」 (4)中京区ボランティアセンターの紹介 (5)だれかがそばにいてくれるカフェ「区社協カフェ」 【発行部数】42,000 部
	【広報紙名】「中京区社協たより」2025 冬号 【回数】年 1 回発行(1 月) 【内容】 (1)お知らせ ①であいひろば&なんでもてんらんかい開催 ②貸出機材にスクエアボッチャが仲間入りしました (2)Topics「いよいよクリスマス会」開催しました (3)区社協カフェReport (4)教養ガーデン通信 (5)ゆいちゃん! ボランティアのこと教えて (6)〇〇学区のここキラリ! (7)あんしん支援員のひとこま 【発行部数】40 部
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】 中京区ボランティアグループ連絡会「中京ゆい」パンフレット、ゆいちゃんプラバン、手話講座ポスター、いよいよクリスマス会チラシ・ポスター、であいひろばチラシ・ポスター、災害親子講座チラシ 中京区桜🌸つながるプロジェクト タペストリー作成: 2,000 枚程度の桜のメッセージが区内 VG・事業所から集まる
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり 【その他】実施したイベントの動画撮影・編集を行った。団体 HP での情報発信を 47 回、団体Instagramでの発信を 62 回行った。
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。 (2)おやこでまなぶ災害講座～突然の地震に備えてできること～ 【日時】令和7年3月15日(土) 10:00-12:30 【参加者層・数】小学生の親子等 36 名

3. 災害対策のための環境整備事業	【主な内容】防災に関する講義、災害時に役立つものづくり講習 (3)乳幼児保護者のための防災講座 【日時】令和7年3月15日(土) 13:30-15:30 【参加者層・数】乳幼児保護者5名 【主な内容】防災に関する講義、災害時に役立つものづくり講習 区災害ボランティアセンターの環境整備 (1)中京区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和6年11月11日(月) 13:30-15:00 【場所】中京区役所4階第2研修室 【参加者層・数】中京区役所地域力推進室総務・防災担当、区社協 5名 【内容】 ア. 区災害ボランティアセンター設置運営訓練について イ. 災害対策のための環境整備における資材確認 (2)中京区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和7年3月21日(金) 14:00-16:00 【場所】中京区社会福祉協議会 【参加者層・数】中京区役所地域力推進室総務・防災担当、佛教大学二条キャンパス事務部、区社協、市災ボラ11名 【内容】 ア. 報告共有 ①令和6年11月開催「中京区災害ボランティアセンター設置運営訓練(事前打合せ)」について ②災害対策のための環境整備 資機材備品保管状況について イ. 情報提供 ①大規模災害時の市と区の連携について ②市災VCと区VCとの役割分担 ウ. 確認・検討 ①次年度の区災ボラ設置運営訓練(机上 or 実地訓練)について
	実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月-金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応 相談対応内容 【件数】288件 【主な相談内容】 (1)Vしたい48件、Vしてほしい25件、その他の相談215件 (2)高齢の方や障がいのある方のどこか通える場がないか、Vしたいといった相談 (3)子ども食堂、地域の居場所の立ち上げ相談 コーディネートに伴う事業 ボランティアの把握 合計1,346名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
2. 調査研究	4. その他／1 調査・研究活動
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】高齢者と子ども・障害者の地域交流事業 【日時】令和6年6月29日(土) 【対象】御所東小学校児童・春日学区、銅駝学区の高齢者 【実施施設】御所東小学校 【開催回数】1回 【参加者数】40名程度【内容】スクエアボッチャ 【協力団体】中京区身体障害者団体連合会 (2) 【講座名】誰もがくらしやすい洛中のまち 【日時】令和6年9月2日(月)、9月17日(火) 【対象】洛中小学校3年生 【実施施設】洛中小学校 【開催回数】2回 【参加者数】60名程度 【内容】ゲストティーチャー(視覚、聴覚、肢体障がい)の話を聞く、要約筆記、手話学習、盲導犬学習、車椅子体験を行う。 【協力団体】中京区身体障害者団体連合会

4. その他／3 講座・研修等の開催

- (3)
【講座名】車いす体験
【日時】令和6年4月17日(水)、5月10日(水) **【対象】**山田繊維従業員、むす美店舗職員 **【実施施設】**山田繊維・むす美
【開催回数】2回 **【参加者数】**20名程度
【内容】ゲストティーチャー(肢体障がい)の話を聞く、車椅子体験を行う。 **【協力団体】**中京区身体障害者団体連合会
- (4)
【講座名】やさしいっぱい 朱一の町
【日時】令和6年9月27日(金)、10月7日(月)、10月18日(金)、11月8日(金)、令和7年1月28日(火)、3月7日(金)
【対象】朱一小学校4年生 **【実施施設】**朱一小学校
【開催回数】6回 **【参加者数】**66名
【内容】ゲストティーチャーのお話、車椅子体験、手引き体験、点字学習高齢者疑似体験、ロービジョン眼鏡体験、スクエアボッチャ体験、手話学習
【協力団体】中京区身体障害者団体連合会、視覚障害者支援グループらく、朱一学区民生児童委員協会
- (5)
【取組名】なんでもてんらんかい
【日時】令和6年9月～令和7年3月 **【対象】**中京区民 **【実施施設】**元教業小学校、中京区役所、京都社会福祉会館
【参加者数】4回実施、延べ360名 **【出展者】**25名
【内容】区社協カフェ、区役所、区民集会、であいひろばにて「なんでもてんらんかい」を実施。好きなことやお気に入り进行を展示し、それを見た方がコメントを書き、出展者に返す。
- (6)
【取組名】教業ガーデン
【日時】令和6年10月～令和7年3月 **【対象】**中京区民 **【実施施設】**元教業小学校
【参加者数】延べ333名
【内容】
ア. 定例会: 62名(10月15日(火)、11月5日(火)、12月17日(火)、2月4日(火)、3月18日(月))
イ. ワークショップ(土づくり等): 81名(10月23日(水)、10月24日(木)、10月29日(火)、10月30日(水)、11月5日(火)、12月17日(火))
ウ. 毎週お世話日(11月-) : 190名
- (7)
【取組名】区社協カフェ
【日時】毎月1回第1木曜日
【参加者数】12回実施、延べ238名
【内容】毎月1回誰が来てもよい居場所を実施
- (8)
【取組名】子どもの居場所情報交換会
【日時】令和6年6月16日(日)、7月10日(水)、12月8日(日)、令和7年3月23日(日)
【実施施設】元教業小学校、更生保護施設盟親、佛教大学
【開催回数】4回 **【参加者数】**延べ966名
【内容】子どもの居場所交流会、いっしょクリスマス会、であいひろば 子どもの居場所団体の交流および情報交換、啓発
【協力団体】子どもの居場所実行委員会、京都洛陽ライオンズクラブ、エースホテルなど
- (9)
【講座名】はじめての手話教室
【日時】令和6年8月3日(土)、8月10日(土)、8月17日(土) **【対象】**中京区民、中京区に通勤、通学する人 **【実施施設】**元教業小学校
【開催回数】3回 **【参加者数】**31名
【内容】手話を学ぶ
【協力団体】聴覚障害者協会中京支部、手話サークルみみずく中京支部昼の部、夜の部
- (10)
【講座名】中京区ボランティアフェス
【日時】令和6年8月22日(木)、8月23日(金) **【対象】**中京区民、ボランティアをしている人、ボランティアに関心のある人
【実施施設】京都市身体障害者福祉会館 **【開催回数】**2回 **【参加者数】**115名
【内容】
ア. 1日目
①ドッグセラピー アンビシャス②手話で大型紙芝居 京都市手話学習会「みみずく」③ミニボットセダム 中京・花とみどりの会④絵本を楽しもう! ふれあいまわり「どうぞ」⑤作品をみよう! いきいき会⑥ボランティアを知ろう! 中京・ゆいの全団体⑦カフェ 京都市身体障害者団体連合会
イ. 2日目ワークショップ & 交流
①ものづくり いきいき会②アートセラピー体験 じゃりんこ 発達凹凸この保護者交流会ボレボレ③アイマスクで折り紙体験 視覚障害者支援グループらく④ ミニボットセダム 中京・花とみどりの会⑤くらしについて くらし助け合いの会
【協力団体】ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」、京都市身体障害者団体連合会

4. その他／3 講座・研修等の開催	(11) 【講座名】ゆいちゃんとおそぼ〜ボランティアってなあに のぞいてみよう〜 【日時】令和7年3月28日(金) 【対象】中京区民、中京区に通勤、通学する人 【実施施設】京都市身体障害者福祉会館 【開催回数】1回 【参加者数】75名 【内容】 ア. 高齢者と昔あそび(とんからり in 二条) イ. 中京・ゆいマスコットキャラクター「ゆいちゃん」をつくろう! ワークショップ ウ. 読み聞かせ(ふれあいぼうむどうぞ、みみずく) エ. からだで表現(じゃりんこ) オ. 団体紹介パネル カ. 作品の展示 【協力団体】ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」、京都市身体障害者団体連合会
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】中京区ボランティアセンター運営委員会(令和6年7月18日(木)、令和7年1月16日(木)) 【開催回数】2回 【構成団体数】15団体 【構成団体名】区社協(1)学区社協(2)民協(1)ボランティアNPO(2)当事者(2)施設(3)学識(1)学校(2)行政(1) 【議事内容】 (1)第1回 区ボランティアセンター運営委員会 ア. 報告事項 イ. 中京区ボランティアセンター事業報告 ウ. 中京区ボランティアセンター今後の計画について エ. ワーク「色々な形で関わる参加支援」 (2)第2回 区ボランティアセンター運営委員会 ア. 令和6年度 中京区ボランティアセンター事業報告 イ. 福祉教育 ゲスト 中京区身体障害者団体連合会会長 菅浪善造 様 朱雀第一小学校 4年生担当 倉中晃子 様 ウ. いざしよクリスマス会 エ. 中京ボランティアフェス (3)中京区ボランティアセンター今後の予定について ア. 検討事項 イ. 令和7年度中京区ボランティアセンター事業計画案 ウ. ワーク「人に合わせたつながる仕掛けづくり」
	ボランティアグループ連絡会 【名称】ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」 【開催回数】例会6回、啓発1回、研修2回 【加入団体数】11団体 【加入団体名】中京区視覚障害者支援グループ らく、京都市手話学習会「みみずく」中京支部、聴覚障害児プログラム研究会マイマイ、いきいき会、障害児学童 じゃりんこ、ふれあいぼうむ『どうぞ』、京都生協 とんからりin二条、認定NPO 法人アンビシャス、中京・花とみどりの会、せいきょう ぐらしの助け合いの会、発達凹凸子の保護者交流会 ポレポレ 【主な議題】(1)情報交換 (2)啓発活動について、(3)スキルアップ研修について



令和6年8月22日(木)、8月23日(金)「中京区ボランティアフェス」

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有
	【貸出し件数】219 件
	【延べ利用人数】3,575 名(※共有の場合は VG のみをカウント)
	機材の貸出し
	【貸出し件数】642 件(うち、印刷機器 269 件、その他機材 373 件)
	【貸出し物品】車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター等
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】53 団体 349 名
	【行事保険】39 件 1,601 名
	活動への助言、指導、支援など
	(1)視覚障害者支援グループ「スキップ」に対する活動への助言・協働・連絡調整等の支援
	(2)デイ銭湯運営委員会への参画、有障児者デイ銭湯事業の実施協力
	(3)「ガーデン de ひがしやま」活動(高齢者の仲間づくり・健康づくり活動)への支援
	(4)「東山区内のボランティア活動状況に関するアンケート調査」の実施
	ボランティア広報紙の発行
3. 災害対策のための環境整備事業	【広報紙名】「ひがしやま」Vol. 26
	【回数】年 1 回発行(3 月)
	【発行部数】20,000 部(※全戸配布)
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】「ひがしやま petit」(5 月、8 月、12 月)
	【発行部数】各 500 部発行
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり
	【その他】Instagram にて事業の告知及び報告を計 78 回情報発信
	人材育成、啓発、ネットワーク
	華頂女子高等学校での防災授業「防災ワークショップ」への参画(京都 DWAT 事業)
	【日時】令和 6 年 9 月 20 日(水) 【参加者数】70 名
	【内容】京都 DWAT の周知を図るとともに避難所での生活を体験し、福祉ニーズへの理解を深め、日ごろから地域とのつながりや防災の意識を高める。
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)令和 6 年度災害時要配慮者支援研修「防災・わたしたちの避難行動」
	※共催：京都手をつなぐ育成会 東部支部
	【日時】令和 6 年 12 月 4 日(土) 13:00-15:00
	【参加者数】12 名
	【内容】障がいのある子とその親が参加し、非常食の試食などを行い避難行動についての意識を高める。
	(2)令和 6 年度災害時要配慮者支援研修「災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」
	※共催：京都市福祉ボランティアセンター
	【日時】令和 7 年 3 月 23 日(土) 13:00-15:30
	【参加者数】約 30 名
	【内容】個人ワークなどを通し、いざというときの備えや関係づくりへの理解を深め、防災への意識を高める。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	(1)区災害ボランティアセンター設置運営訓練
	【日時】令和 6 年 11 月 24 日(日) 9:30-11:30
	【場所】京都美術工芸大学アリーナ
	【参加者層・数】住民、区役所、消防、企業、学校等 96 名
	【内容】貞教学区民を対象に災害ボランティアセンターの役割について周知を図る。
4. その他 1 相談ニーズ コーディネート事業	実施体制
	【実施体制】職員 3 名体制で実施
	【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応
	相談対応内容
	【件数】188 件
	【主な相談内容】
	(1)車椅子の貸出しについて
	(2)ボランティアに来てほしい、ボランティアをしたい
	(3)ボランティア保険について
	(4)備品の貸出しについて等

1 相談・コーディネート事業	4. その他 ／	コーディネートを伴う事業 【事業名】デイ銭湯事業の実施 【開催日時】デイ銭湯: 令和6年5月25日(土) 16:00-17:00、夏レク: 9月8日(日) 10:00-14:00 【延べ人員】参加者3名、ボランティア6名、夏レク: 参加者24名、関係者12名 【主な内容】入浴介助(見守り含む)、衣服着脱介助、交流 【主なコーディネート内容】運営委員会の開催、事業の企画・案内及び参加者とりまとめ、終結に向けての協議
		ボランティアの把握 合計 437名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究	4. その他 2	調査・研究活動 【調査名】令和6年度東山区のボランティア活動状況に関するアンケート 【対象】区内のボランティア団体、居場所運営団体、当事者団体、福祉施設、学区社会福祉協議会等計116団体 【回答期間】令和6年8月7日(水)-令和6年8月30日(金) 【主な内容】区内ボランティア活動状況の把握
	4. その他 3	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】こころの健康を考える講座～知ることから始めよう～(東山区こころのふれあいネットワーク、東山区役所保健福祉センターと共催) 【日時】令和6年10月9日(水) 15:00-16:30 【開催回数】1回 【参加者】18名 【内容】こころの病を抱える当事者の経験や思いを理解する 【ボランティアに繋がった人数】8名 (2) 【事業名】要約筆記の体験講座(NPO 法人京都市中途失聴・難聴者協会東山支部、京都市要約筆記サークル「かたつむり」に協力) 【日時】令和7年2月22日(土) 10:00-12:00 【開催回数】1回 【参加者】9名 【内容】要約筆記の体験教室 【ボランティアに繋がった人数】3名 (3) 【講座名】開晴小学校における福祉教育 【日時】令和6年5月29日(水) 11:40-12:25、5月31日(金) 10:45-11:30 【開催回数】2回 【参加者】延べ48名 【内容】高齢者疑似体験 【ボランティアに繋がった人数】0名 (4)【講座名】認知症サポーター養成講座(栗田包括への参画) 【日時】令和6年10月2日(水) 9:05-10:45 【開催回数】1回 【参加者】79名(華頂女子高等学校1年生) 【内容】認知症の基礎理解、サポーターの役割について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (5) 【講座名】認知症サポーター養成講座(東山老センへの参画) 【日時】令和7年1月29日(水) 10:00-11:30 【開催回数】1回 【参加者】15名(東山老人福祉センター利用団体等) 【内容】認知症の基礎理解、当事者の思いを理解する 【ボランティアに繋がった人数】0名 (6) 【講座名】京都華頂大学地域福祉論(地域におけるソーシャルワーカーの役割について) 【日時】令和6年7月8日(月) 16:20-17:40 【開催回数】1回 【参加者】15名 【内容】地域におけるソーシャルワーカーの役割について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (7) 【講座名】京都女子大学地域連携講座 B2(社会福祉協議会と地域の福祉活動) 【日時】令和6年7月22日(月) 10:35-12:05 【開催回数】1回 【参加者】26名 【内容】社会福祉協議会と東山区の地域福祉活動について 【ボランティアに繋がった人数】0名

4. その他／3 講座・研修等の開催	(8) 【事業名】京都女子大学フィールドワーク(社会福祉協議会と地域の福祉活動) 【日時】令和6年7月22日(月) 13:00-14:30 【開催回数】1回 【参加者】11名 【内容】社会福祉協議会と東山区の地域福祉活動について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (9) 【事業名】京都女子大学「京女ボランティア隊」ボランティア入門講座 【日時】令和6年9月26日(火) 15:00-16:00 【開催回数】1回 【参加者】13名 【内容】ボランティア活動の基礎知識の普及 【ボランティアにつながった人】6名 (10) 【事業名】「あなたの得意!を地域で活かしてみませんか?」(東山区地域支え合い活動入門講座との共催) 【日時】令和6年6月27日(木) 10:00-11:30 【開催回数】1回 【参加者】17名 【内容】高齢者を対象とするボランティアの基礎知識の普及 【ボランティアにつながった人】9名 (11) 【事業名】スマイルコンサート 【日時】令和6年10月4日(金) 10:00-11:00 【開催回数】1回 【参加者】しんかべこども園、善立寺保育園の園児及び保護者、地域住民、他多数 【内容】園児によるミニコンサートの披露、音楽を通じた交流 【ボランティアにつながった人】0名
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】東山区ボランティアセンター運営委員会 【開催回数】2回 【構成団体数】13団体 【構成団体名】東山区社会福祉協議会、修道学区社会福祉協議会、東山区民生児童委員会、京都手をつなぐ育成会東山支部、東山青少年活動センター、東山総合支援学校、NPO 法人助けあいグループりぼん、視覚障害者支援ボランティア「スキップ」、京都生協東ブロック事務局、華頂短期大学准教授(学識経験者)、東山老人デイサービスセンター、NPO 法人音の風、金剛寺 【議事内容】(1)東山区ボランティアセンター運営委員の委嘱について (2)令和5年度事業報告 (3)令和6年度事業計画について (4)第5期東山区地域福祉活動計画の策定に向けたアンケートの実施について (5)令和6年度「東山区内のボランティア活動状況に関するアンケート」結果概要について (6)アンケート結果報告を受けての意見交換 ボランティアグループ連絡会 なし



令和6年11月24日(日)東山区災害ボランティアセンター設置運営訓練、広報誌「ひがしやま」Vol. 26

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有	
	【貸出し件数】132 件	
	【延べ利用人数】396 名	
	機材の貸出し	
	【貸出し件数】307 件(うち、印刷機器 64 件、その他機材 243 件)	
	【貸出し物品】車椅子、アイマスク、プロジェクター、スクリーン、マイクセット、点字器、略字表他	
	ボランティア保険の加入促進	
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】111 団体 2,137 名	
	【行事保険】95 件 7,579 名	
	活動への助言、指導、支援など	
	(1)山科ボランティアグループ連絡会所属団体の活動状況の確認・助言	
	(2)山科身体障害者福祉会館・聴覚障害者協会山科支部・京都市手話学習会「みみずく」山科支部と共催の手話講座の開催	
	(3)山科身体障害者福祉会館と共催・身体障がい者・聴覚障がい者関係団体 2 団体と協力した要約筆記ボランティア入門講座の開催	
	(4)知的障がい者施設等の 9 施設・団体との協力のもとに「ボランティア講座～知的障がいのある人とともに～」の開催	
	(5)山科身体障害者福祉会館と共催・視覚障がい者関係団体 3 団体の協力の元に視覚障がい者ボランティア入門講座の開催	
3. 災害対策のための環境整備事業	(6)次亜塩素酸水の提供	
	(7)ボランティア活動支援助成の交付	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】「山科ボランティアセンターだより」(区社協機関誌含む)	
	【回数】年 1 回発行(9 月)	
	【発行部数】40,000 部(区内全戸・関係機関配布)	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】各種入門講座チラシ	
	【発行部数】各チラシ 5,000 部(区内回覧、関係機関配布)	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNS の開設】あり	
	【その他】	
	(1)区社協ホームページ	
	(2)市福祉ボランティアセンターホームページ	
	(3)京・福祉の情報ネット	
	(4)山科区公式アプリ「やましなプラス+」による発信	
	(5)ボランティア募集サイト「activo」への掲載	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	(1)山科区防災会議への参画	
	【日時】令和 6 年 6 月 5 日(水) 14:00-16:00 【場所】山科区役所 【参加者層・数】警察署、土木事務所、区役所等 40 名	
	【主な内容】	
	ア. 令和 5 年度に発生した主な災害について	
	イ. 能登半島地震における被害状況及び支援活動について	
	ウ. その他防災に係る情報共有について	
	(2)地域での啓発活動	
	ア. 鏡山ボランティアセンター運営委員会	
	【日時】令和 6 年 5 月 1 日(水) 10:00-12:00 【場所】鏡山小学校 【参加者層・数】鏡山学区社協ボランティアセンター等 14 名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介および、石川県七尾市災害ボランティアセンター職員派遣の活動報告	
	イ. 鏡山学区社会福祉協議会総会	
	【日時】令和 6 年 5 月 8 日(水) 19:00-20:00 【場所】鏡山小学校 【参加者層・数】鏡山学区社協役員、町内会長、福祉委員等 30 名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介および、石川県七尾市災害ボランティアセンター職員派遣の活動報告	
	ウ. 山階学区福祉委員会	
	【日時】令和 6 年 5 月 22 日(水) 19:00-20:00 【場所】山階小学校 【参加者層・数】山階学区社協役員、福祉委員等 53 名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介および、石川県七尾市災害ボランティアセンター職員派遣の活動報告	
	エ. 山階南学区東野ブロック防災訓練	
	【日時】令和 6 年 6 月 23 日(日) 9:00-12:00 【場所】山階南公会堂 【参加者層・数】山階南学区民、消防団等 50 名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター啓発ブース出展	

3. 災害対策のための環境整備事業	オ. 山階南学区区民正委員会議 【日時】令和6年6月25日(火) 19:30-20:30 【場所】山階南自治会館 【参加者層・数】山階南学区民生委員等25名 【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介および、石川県七尾市災害ボランティアセンター職員派遣の活動報告 カ. 音羽学区小金塚第3町内会「なごみ会」 【日時】令和6年10月21日(月) 11:00-14:00 【場所】小金塚集会場 【参加者層・数】音羽学区民36名 【主な内容】山科区社会福祉協議会の概要説明および災害ボランティアセンターの活動紹介 キ. 鏡山学区福祉のつどい 【日時】令和6年10月26日(土) 10:00-12:00 【場所】鏡山小学校 【参加者層・数】鏡山学区民120名 【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、チラシ配架、災害ボランティアなりきりフォトスポットのブース設置 ク. ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科 【日時】令和6年11月4日(月・祝) 11:00-15:00 【場所】山科総合福祉会館 【参加者層・数】山科区民等200名 【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、チラシ配架のブース設置 ケ. 音羽川学区防災訓練 【日時】令和6年11月10日(日) 9:00-12:00 【場所】音羽川小学校 【参加者層・数】音羽川学区民、消防団等90名 【内容】防災体験ブースの一つとして車椅子体験を実施 コ. 山階南学区防災訓練 【日時】令和6年11月10日(日) 9:00-12:00 【場所】山階南小学校 【参加者層・数】山階南学区民、消防団等250名 【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、チラシ配架のブース設置 サ. 山科区防災フェア(山科区総合防災訓練) 【日時】令和6年11月23日(土) 10:00-15:00 【場所】山科中央公園 【参加者層・数】ボランティア、山科区民等100名 【内容】区民まつりと同時開催された山科区防災フェアにて、災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、バルーン配布、花壇プロジェクトの花の種およびイベントチラシ配布のブース設置
	災害時の要配慮者支援研修・訓練 (1)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備 (1)山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和6年6月20日(木) 9:15-12:00 【場所】山科総合福祉会館 【参加者層・数】山科区社協正職員4名 【内容】災害時に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、過去の災害ボランティアセンター実地訓練と石川県七尾市災害ボランティアセンター職員派遣の報告を踏まえ、マニュアルの読み合わせおよび課題の洗い出しを行った。
	実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容 【件数】425件 【主な相談内容】 (1)地域活動でのボランティア活動調整 (2)ボランティアしたい人へのボランティア団体・取組の紹介・見学同行 (3)ボランティアしてほしい人へのボランティア団体の紹介(学区社協ボランティアセンターによるちよいボラへのつなぎ等) (4)ボランティア団体への助成金の紹介 (5)知恵シルバーセンターを活用したコーディネート14件
4. その他／1 相談コーディネート事業	コーディネートを伴う事業 —
	ボランティアの把握 合計2,137名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例育成会、身障連、老人クラブなど)
	調査・研究活動 —
調査及び研究	4. その他／2

4. その他／3 講座・研修等の開催 4. その他／4 活動者相互の交流の促進	講座・研修等の開催 (1)【講座名】視覚障がい者ボランティア入門講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】第1回: 令和6年7月20日(土)、第2回: 令和6年7月27日(土) 15:00-17:30 【開催回数】2回連続講座 【参加者】延べ11名(第1回6名、第2回5名) 【内容】視覚障がい者に関する基礎知識、ロービジョン、手引き歩行体験、点字学習等 【ボランティアに繋がった人数】不明 (2)【講座名】やましなふれあい手話講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】 昼の部 令和7年1月15日、1月22日、1月29日、2月5日、2月12日 ※全て水曜日 13:30-15:00 夜の部 令和7年1月16日、1月23日、1月30日、2月6日、2月13日 ※全て木曜日 19:00-20:30 【開催回数】昼の部・夜の部 各5回ずつの連続講座 【参加者】昼の部: 延べ49名(1回10名、2回9名、3回10名、4回10名、5回10名) 夜の部: 延べ41名(1回9名、2回8名、3回9名、4回8名、5回7名) 【内容】講座・講演・交流 【ボランティアに繋がった人数】4名 (3)【講座名】やましな要約筆記(文字通訳)ボランティア入門講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】令和7年2月8日(土) 13:30-16:30 【開催回数】1回 【参加者】19名 【内容】 ア. 講義「要約筆記の概要・聴覚障がい者に関する基礎知識」 イ. 講義 & 実技「三原則(速く・正しく・読みやすく)・ロール実習」 ウ. 講義 & 実技「筆談・ノートテイク実習」 エ. 講義 & 実技「パソコン」 オ. 要約筆記サークル「かたつむり」と「京都市要約筆記養成講座」紹介 【ボランティアに繋がった人数】不明 (4)【講座名】ボランティア講座～知的障がいのある人とともに 【日時】令和6年10月19日(土) 10:00-12:00 【開催回数】1回 【参加者】12名 【内容】 ア. 知的障がいのある人への関わりについて イ. 障がいのある方の社会進出 ウ. 施設・団体紹介 エ. 施設・団体ごとの紹介ブース 【ボランティアに繋がった人数】不明 (5)【講座名】福祉教育の取組推進 【日時】令和6年6月18日(金)、12月6日(金)、12月13日(金)、令和7年1月21日(火) 【開催回数】4回 【参加者】延べ315名(1回52名、2回182名、3回6名、4回75名) 【内容】 ア. 車椅子体験について 2回 イ. 車椅子体験・点字体験について 1回 ウ. 視覚障がいについて 1回 (6)【講座名】山科区地域支え合い活動入門講座(独自型) ※山科区地域支え合い活動創出コーディネーター・山科区社会福祉協議会と共催 【日時】令和6年6月5日(水) 13:30-15:30 【開催回数】1回 【参加者】12名 【内容】 ア. おれんじロードってなに?～花壇プロジェクトのご紹介～ イ. 苗の植え方を学ぶ ウ. おれんじの花の苗植え体験 【ボランティア繋がった人数】8名
	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】山科ボランティアセンター運営委員会 【開催回数】1回※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会合同会議として開催 【構成団体数】8団体 【構成団体名】学区社会福祉協議会、山科身体障害者福祉会館、山科区老人クラブ連合会、山科区地域女性連合会、京都橘大学、京都手をつなぐ育成会山科支部、山科ボランティアグループ連絡会、中学校校長会山科・醍醐支部(8名)

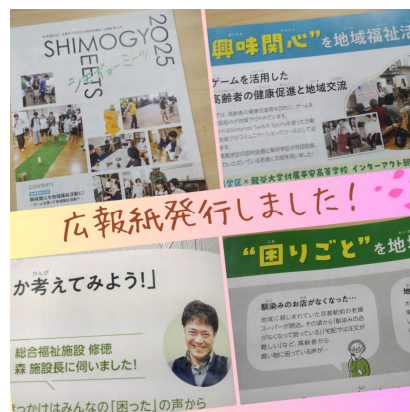
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	【議事内容】 (1)令和6年度山科区ボランティアセンター事業について (2)第5期地域福祉活動計画について (3)活動交流・意見交換
	ボランティアグループ連絡会
	【名称】山科ボランティアグループ連絡会 【開催回数】1回 ※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会合同会議として開催 【加入団体数】10団体 【加入団体名】親子支援ネットワーク♪あんだんて♪、京都市手話学習会「みみずく」山科支部、京都生協くらしの助け合いの会(山科)、山科タンタンおもちゃライブラリー、特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば、京都市要約筆記サークルかたつむり(山科)、あそび隊、沢ネット、京都山科センター合唱団、特定非営利活動法人チャイルドライン京都 【参画グループとの協働活動】 (1)山科タンタンおもちゃライブラリー:「あそびの広場実行委員会」への参画協働 (2)京都市要約筆記サークルかたつむり:「やましな要約筆記ボランティア入門講座」の実施協力 (3)特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば:「フリースペース」の実施協力 (4)京都市手話学習会「みみずく」山科支部:「やましなふれあい手話講座」の実施協力



令和7年1月-2月「やましなふれあい手話講座」、令和7年2月8日(土)やましな要約筆記ボランティア入門講座

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有	
	【貸出し件数】169 件	
	【延べ利用人数】2,066 名	
	機材の貸出し	
	【貸出し件数】489 件(うち、印刷機器 447 件、その他機材 42 件)	
	【貸出し物品】車椅子、オンライン機材、マイク・スピーカー、プロジェクター等	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】75 団体 1,210 名	
	【行事保険】90 件 6,436 名	
2. 情報の収集・啓発事業	【まごころワイド】2 件	
	活動への助言、指導、支援など	
	(1)ボランティアタンポポの育成支援 タンポポ総会ならびに世話人会の開催支援、下京老人デイサービスセンター、下京老人福祉センターでの定期的な活動支援、会報「わたぼうし通信」の発行支援	
	(2)Green Thumb の活動支援 下京総合福祉センター1 階花壇および屋上ガーデンでの活動支援等	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】下京区社協だより「シモギョーミーツ」	
	【回数】年 1 回発行(3 月)	
	【発行部数】25,000 部	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】(ボランティアセンター紹介チラシ、ボランティアグループ連絡会紹介チラシ、ユース報告書など)	
3. 災害対策のための環境整備事業	【発行部数】	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNS の開設】あり	
	【その他】本会 HP、団体情報サーチシステムでの情報発信を随時行った	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	-	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。	
	(2)まなぼうさい! ～学ぶ×防災 非常食ランチ会 ※共催: 下京区地域福祉推進委員会 【日時】令和6年6月7日(金) 11:00-12:00 【参加者数】8 名 【内容】未就園児親子を対象とし、防災に関する周知啓発を行い防災の意識を高める。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
4. その他 コーディネート事業・相談	(1)下京区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和6年11月28日(木) 14:00-15:00 【場所】京都産業大学むすびわざ館1階会議室 【参加者層・数】下京区役所地域力推進室、京都産業大学、下京区社会福祉協議会計7名 【内容】災害ボランティアセンターの役割、機能、立ち上げの流れについて確認及び現地検証の実施。 マニュアルや協定内容確認及び課題洗い出し。	
	(2)令和6年度下京区防災訓練への参画 【日時】令和6年12月8日(日) 10:00-11:30 【参加者数】250 名 【内容】災ボラ啓発の実施、災ボラの1日を紹介、防災グッズが当たるガチャガチャコーナーを設置。	
	実施体制	
	【実施体制】職員3名体制で実施	
	【開設日】窓口・電話相談: 月-金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】151 件	
	【主な相談内容】	
	ボランティア活動に対する相談等	

4. その他／1 相談・コーディネート	コーディネートに伴う事業 【事業名】福祉理容サービス事業 【件数】1 件 【備考】理容協力店 6 店 【主なコーディネート内容】利用希望者の状況把握、参画理髪店のとりまとめ等 【事業名】車椅子貸出事業 【件数】23 件 【事業名】福祉教育(地域と学生のコーディネート事業) 【コーディネート対象】光徳学区社会福祉協議会、第一学院高等学校、龍谷大付属平安高等学校・中学校、七条第三児童館 【主なコーディネート内容】認知症サポーター養成研修への協力、地域福祉の理解を目的とした学生と地域と関わる場所の調整 ボランティアの把握 合計 1,318 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、下京おこしやすの会、かみふうせん、伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、人形劇サークルさんりんしゃ、手話サークルつぼみの会、京都市手話学習会「みみずく」下京支部、親子交流サークル下京こあらの会、有隣ワンダークラブ、その他 VG
調査及び研究 4. その他／2	調査・研究活動 —
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】地域支え合い活動入門講座(標準型) 【日時】令和 6 年 7 月 31 日(金) 【開催回数】1 回 【参加者】7 名 【内容】講義(高齢者を取り巻く状況と地域の支え合い活動の推進、高齢者の身体と心、暮らしを知る、支え合い活動を始めるための基礎知識、活動紹介) 【ボランティア繋がった人数】0 名 (2) 【講座名】地域支え合い活動入門講座(独自型) 【日時】令和 6 年 11 月 18 日(月) 【開催回数】1 回 【参加者】9 名 【内容】コミュニケーション講座「だれでも安心できる居場所づくりのためのコミュニケーション術」講師: 安藤 ゆかり 氏 実践: モルック Nintendo Switch Sports 【ボランティア繋がった人数】3 名
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】理事会 【開催回数】2 回 【構成団体数】14 団体 【構成団体名】学区社協、民生児童委員会、共同募金会、社会福祉施設、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、関係公務員、学識経験者 【議事内容】 第Ⅳ期地域福祉活動計画・下京やさしいまちづくり計画の推進について、区 VC 事業について、地域支え合い活動創出事業について ボランティアグループ連絡会 【名称】下京区ボランティアグループ・サークル連絡会 【加入団体数】10 団体 【加入団体名】ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、下京おこしやすの会、かみふうせん、伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、人形劇サークルさんりんしゃ、手話サークルつぼみの会、京都市手話学習会「みみずく」下京支部、有隣ワンダークラブ



令和 6 年 12 月 14 日福祉教育「しもりゅうくんの冬休み」、令和 7 年 3 月下京区社会福祉協議会広報誌「シモギョーミーツ」発行

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】181 件 【延べ利用人数】2,814 名	
	機材の貸出し	
	【貸出し件数】193 件(うち、印刷機器 52 件、その他機材 141 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオデッキ、プロジェクター、ラジカセ、アイマスク、白杖、スクリーン、マイクセット、スピーカー、印刷機、紙折り機	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】99 団体 1,027 名 【行事保険】112 件 8,229 名	
	活動への助言、指導、支援など	
2. 情報の収集・啓発事業	(1)民間助成の周知および推薦(4 団体) (2)子ども食堂の立ち上げ及び運営支援、団体間のネットワーク化 (3)ボランティアグループの運営支援・啓発活動(広報協力等)およびボランティア活動に関する助言	
	ボランティア広報紙の発行	
	(1)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」のボランティア募集 子育てサポート Ma. Moon の募集 【広報物・報告書など】区社協広報誌「かざぐるま」の発行(年 1 回)、ホームページに掲載(月 1 回) (2)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」の情報発信および子ども食堂に関するボランティア相談への対応強化 【広報物・報告書など】南区トコトコお出かけマップの更新 【主な内容】子育て支援ルーム「すくすくみなみ」のボランティアおよび南区内の子ども食堂の紹介	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	—	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページの開設】あり(随時更新) 【その他】南区福祉総合マップの情報更新、YouTube チャンネルでの情報発信(随時更新)、Instagram での情報発信(随時更新)、子育て支援ルーム「すくすくみなみ」およびコミュニティサロンみなみの活動報告、南区内の子ども食堂の紹介(随時更新)	
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク	
	—	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)中部障害者地域自立支援協議会 災害支援専門部会「災害に強いまち京都を目指して!〜強くなやかなレジリエント・シティと誰一人取り残さない SDGs の達成を目指して〜」 【日時】令和 6 年 10 月 18 日(金) 13:30-14:45 【場所】ひと・まち交流館 京都 3 階 第 3 会議室 【参加者層・数】当事者団体、障害者地域生活支援センターらくなん、区社協 39 名 【主な内容】災害時における自助・共助の重要性や、災害の備え・避難行動・避難所の運営について	
	(2)令和 6 年度災害時要配慮者支援研修「〜災害に備える〜わたしと地域の防災力の向上」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和 7 年 3 月 23 日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	(1)南区災害ボランティアセンター設置・運営に関する懇談会 【日時】令和 6 年 7 月 24 日(水) 10:00-12:00 【場所】南区社協会議室 【参加者層・数】6 名(南区役所地域力推進室、南区社協) 【内容】前年度に開催した設置運営訓練を踏まえ、マニュアル及びレイアウトの修正箇所を確認し、令和 5 年度災害 VC 訓練移行の動向等最新の情報共有を行った。 (2)南区災害ボランティアの設置・運営訓練 【日時】令和 7 年 2 月 26 日(水) 14:00-15:30 【場所】南区社協会議室 【参加者層・数】8 名(南区役所地域力推進室、京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室、市社協ボランティア支援部(市災ボラ担当)、南区社協) 【内容】区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティアの受け入れ対応についての流れを確認した。また、昨年 7 月の懇談会で修正した設置候補地におけるレイアウト確認を行い、災害時に迅速に対応できるように設置・運営のイメージを共有した。	

4. その他／1 相談コーディネート事業	実施体制	
	【実施体制】職員 4 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談: 月-金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】249 件 【主な相談内容】 車椅子・機材の貸出し相談、ボランティアセンター利用相談、コミュニティサロン”みなみ”利用相談、子ども食堂の立ち上げ相談、ボランティア活動の問い合わせ、生活相談等	
	コーディネートを伴う事業	
4. その他／2 調査及び研究	【事業名】子育て支援ルーム「すくすくみなみ」 【件数】36 件 【延べ人員】545 名 【主なコーディネート内容】子育て支援ルームの利用者対応、ボランティア調整等	
	ボランティアの把握	
	合計 1,100 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例: 育成会、身障連、老人クラブなど)	
	調査・研究活動	
	—	
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催	
	(1)南区ボランティア入門講座 【日時】ア. 令和 6 年 9 月 7 日(土) 10:00-12:00、イ. 令和 7 年 2 月 28 日(金) 18:30-19:30、ウ. 3 月 20 日(木) 10:00-11:00、11:10-12:00 【場所】ア. 南老人福祉センター、イ. 山王小学校、ウ. たのしい家吉祥院 【参加者】延べ 27 名(各回の参加者数: ア. 12 名、イ. 8 名、ウ. 7 名) 【内容】学生によるスマートフォンの機能やインターネット活用のサポート(高齢者対象) 【ボランティアに繋がった人数】17 名 【協力】南青少年活動センター	
	(2)福祉教育 【名称】唐橋小学校「車椅子・アイマスク体験」 【日時】令和 6 年 11 月 6 日(水) 13:35-15:00 【参加者層・数】3 年生 78 名 【協力】学区社協、学区民協、ボランティアグループ	
	区ボランティアセンター運営委員会	
	【名称】理事会・評議員会 【開催回数】年 2 回(6 月、3 月) 【構成団体数】理事会(15 団体)、評議員会(33 団体) 【構成団体名】学区社協、学区民協、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、保育園園長、共同募金会、社会福祉関係行政機関等 【議事内容】事業概要も説明・共有、立案推進に関する件について、区・学区社協ボランティア活動に関する件について、各分野におけるネットワークづくりに関する件について	
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	ボランティアグループ連絡会	
	【名称】南区子育て支援ルーム「すくすくみなみ」運営団体交流会 【日時】令和 7 年 3 月 5 日(水) 13:30-15:00 【参加団体数】4 団体(子育てサポート Ma. Moon、ぴよぴよみなみん、でこぼこママ、スマイル) 【主な議題】 (1)すくすくみなみ開所時におけるアクシデントの共有 (2)すくすくみなみ運営マニュアル及び備品の確認と共有 (3)令和 7 年度の運営について (4)情報交換・交流	



令和 6 年 11 月 6 日(水) 唐橋小学校「車椅子・アイマスク体験」、令和 7 年 3 月 20 日(木)「南区ボランティア入門講座」

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】479 件 【延べ利用人数】3,607 名
	機材の貸出し
	【貸出し件数】216 件うち、印刷機器本部: 33 件、京北: 128 件、その他機材本部: 45 件、京北: 10 件 【貸出し物品】車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】151 団体 2,426 名 【行事保険】447 件 16,755 名
	活動への助言、指導、支援など
	学区ボランティアスクールなどへの講師並びに講師紹介。ボランティア保険加入手続き支援等。
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「ウェル BOX 右京 2024」「京北事務所だより」 【回数】年 13 回発行(「ウェル BOX」12 月、「京北事務所だより」毎月) 【発行部数】「ウェル BOX 右京」59,000 部、「京北事務所だより」2,200 部/ 回
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】 (1)右京区民ふれあい文化フェスティバル(令和6年10月26日(土))の区社協ブースで、「右京区ボランティアグループ連絡会」の周知啓発、各団体のチラシ配架などを行った。 (2)区社協事務所配架コーナーで、市・区社協、学区社協、各種団体等の広報紙を配架。 【発行部数】各内容によって異なる。
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり 【その他】区社協 HP で機材貸出情報発信、イベント情報などの収集、発信。
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	学区社協におけるボランティアスクールを6学区で実施(嵯峨野、山ノ内、梅津、西京極、葛野、京北) 【内容】自閉症当事者の家族について、災害ボランティアセンターについてなど。
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練 【日時】令和7年1月17日(金) 9:00-11:30 【参加者層・数】設置候補地施設職員、右京区役所地域力推進室職員、京都市災害ボランティアセンター職員、右京区社会福祉協議会職員、京都市文化市民局、京都市保健福祉局、きょうと NPO センター13 名 【主な内容】区役所、設置予定施設、区社協、後方支援を担う京都市災害ボランティアセンターの4者による協議と現地視察の実施。
	(2)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練 ※再掲 【日時】令和7年1月17日(金) 9:00-11:30 【参加者層・数】設置候補地施設職員、右京区役所地域力推進室職員、京都市災害ボランティアセンター職員、右京区社会福祉協議会職員、京都市文化市民局、京都市保健福祉局、きょうと NPO センター13 名 【主な内容】区役所、設置予定施設、区社協、後方支援を担う京都市災害ボランティアセンターの4者による協議と現地視察の実施。
4. その他 ／ 1 相談・コーディネート事業	実施体制
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談: 月-金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話 FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
	【件数】782 件 【主な相談内容】 (1)ボランティアしたい、参加したい、ボランティアを求める (2)寄贈、寄付相談
	コーディネートを伴う事業
	【事業名】外出支援サービス事業(福祉有償運送事業、サロン送迎、お買い物支援) 【件数】755 件 【延べ人員】2,667 名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、運転ボランティアの調整

4. その他／1 相談コーディネーター事業	【声の広報コスモスグループ】 【件数】22 件 【延べ人員】36 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整 【給食ボランティアグループ】 【件数】1,601 食 【延べ人員】264 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整、活動(材料費)お支払い等 【サロンボランティア】 【件数】221 回 【延べ人員】743 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、サロンボランティア活動、サロン活動内容調整等 【対話ボランティア】 【件数】150 件 【延べ人員】30 名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、対話ボランティアの調整 ボランティアの把握 合計 3,000 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究 4. その他／2	調査・研究活動 —
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1)地域支え合い活動入門講座(標準型)への協力 【講座名】右京区地域支え合い活動入門講座 【日時】令和6年5月29日(水) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ18名(各回の参加者数) 【内容】「支え合い活動を始めるための基礎知識」をテーマに講義を実施。 【ボランティア繋がった人数】5 名 (2)地域支え合い活動入門講座/ 情報交換会 【講座名】「右京区で福祉のまちづくり活動をする人たちが集まり、つながるためのフェス～“うふふ”～」 【日時】令和7年1月22日(水) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ100名(各回の参加者数) 【内容】「話題提供「つながるための工夫～世代問わず簡単にできるボードゲーム～」」「つながりの事始め～フリップボードディスカッション & ブースPR タイム～人と場～」の実施。 【ボランティア繋がった人数】15 名 (3)要約筆記1日体験教室 【日時】令和7年2月1日(土) 13:30-15:30 【開催回数】1 回 【参加者】16 名 【内容】京都市中途失聴・難聴者協会右京支部、要約筆記サークルかたつむりとの共催により、要約筆記を体験する講座を開催。 【ボランティア繋がった人数】3 名 (4)学区社協におけるボランティアスクール6学区で実施(嵯峨野、山ノ内、梅津、西京極、葛野、京北) 【内容】自閉症当事者の家族について、災害ボランティアセンターについてなど
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 — ボランティアグループ連絡会 【名称】右京区ボランティアグループ連絡会 【開催回数】12 回(本部2回、京北10回) 【加入団体数】11 団体 【加入団体名】 本部: 嵐山寮ボランティアの会「ふれんど」・健光園ボランティアの会・いちごクラブ・右京区手話サークル連絡会・わたぼうし文庫・このはな文庫・もみじ文庫・たんぽぽ文庫・ひこばえ・ねんころり・まるちゃんスマホ 京北: 菜の花グループ、鳥居グループ、四つ葉グループ、上川給食ボランティア、下弓削グループ、周山①グループ、周山③グループ、周山④グループ、宇津しゃくばりグループ、宇津あじさいグループ、向日葵グループ、井戸グループ、つぐみ会グループ、ごもくめし、ゆみさかグループ、コーラスたんぽぽの会、踊りグループはまほみ、舞踊「紅会」、黒田大正琴同好会、大正琴荒田グループ、コスモスグループ、宇津あわせグループ、京北対話ボランティア、いれいほくファイブA、運転ボランティア、サロンボランティア、マナビ給食ボランティアグループ 【主な議題】 本部: 右京区ふれあい文化交流会へのブース出展について、ボランティア連絡会のあゆみとこれからの連絡会についてなど 京北: コスモスボランティア交流会・対話ボランティア定期ミーティング・サロンボランティア代表者交流会・給食ボランティア代表者会議交流会・外出支援ボランティア研修会、京北ボランティア交流会、宇津あわせグループ今後の活動についてアンケート、ボランティアスクール衛生研修会



令和6年10月26日(土)「右京区民ふれあい文化フェスティバル」への参画
(右京区ボランティアグループ連絡会、右京区災害ボランティアセンター)

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有
	【貸出し件数】30 件
	【延べ利用人数】203 名
	機材の貸出し
	【貸出し件数】279 件(うち、印刷機器 178 件、その他機材 101 件)
	【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー、ウェブカメラ、三脚
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】132 団体 1,602 名
	【行事保険】161 件 10,162 名
	活動への助言、指導、支援など
	(1)子どもの居場所づくりの立ち上げ・運営支援
	(2)助成申請、啓発事業の実施等、ボランティアグループの運営支援
	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】陽だまり通信
	【回数】年 1 回発行(9 月)
3. 災害対策のための環境整備事業	【発行部数】44,000 部
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】(1)陽だまり通信(2)ボランティアグループ連絡会紹介パネル(3)子どもの居場所パネル
	【発行部数】(1)44,000 部(2)1 部(3)16 枚
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり
	【その他】なし
	人材育成、啓発、ネットワーク
4. その他／1 相談・コーディネート事業	—
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしたち地域の防災力の向上」
	※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター
	【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30
	【参加者数】42 名
	【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
4. その他／1 相談・コーディネート事業	(1)区災害ボランティアセンターマニュアルの見直し・発行
	【発行部数】5 部 【配布対象】区役所(本所)
	(2)区災害ボランティアセンター設置運営訓練
	【日時】令和7年3月21日(金) 10:00-11:30 【場所】西文化会館ウエスティ
	【参加者層・数】ウエスティ、地域力推進室(本所・支所)7 名
	【内容】区災害ボランティアセンターの開設・運営を見据えた現地視察を行った。
	実施体制
	【実施体制】職員 3 名体制で実施
4. その他／1 相談・コーディネート事業	【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応
	相談対応内容
	【件数】181 件
	【主な相談内容】
	(1)ボランティア・寄付相談
	(2)生活福祉資金関係
	(3)地域で対応困難の方に関する相談等
	コーディネートに伴う事業
4. その他／1 相談・コーディネート事業	知恵シルバーセンター事業(団体登録 1 件、依頼件数 3 件)
	ボランティアの把握
	合計 1,602 名
	集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。
	※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格がなくとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例：育成会、身障連、老人クラブなど)

調査及び研究	4. その他／2	調査・研究活動	
	4. その他／3	講座・研修等の開催	
	4. その他／4	活動者相互の交流の促進	



令和7年3月21日(金)区災害ボランティアセンター設置運営訓練

令和6年度 伏見区ボランティアセンター事業 実施報告書

京都市伏見区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有 伏見区社協 72 m ² 醍醐分室 20. 16 m ² 【貸出し件数】106 件 【延べ利用人数】1,178 名(※共有の場合は VG のみをカウント)
	機材の貸出し
	【貸出し件数】339 件(うち、印刷機器 139 件、その他機材 200 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオプロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折り機
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】245 団体 2,269 名 【行事保険】342 件 18,758 名
	活動への助言、指導、支援など
	周知方法等の助言 伏見区ボランティアグループ連絡会への研修開催など
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「伏見の『わ』」ボランティア F 【回数】年 4 回発行(5 月、8 月、11 月、2 月) 【発行部数】2,000 部(500 部×4 回)
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】伏見区ボランティアグループ連絡会・伏見区ボランティアセンター紹介パンフレット 【発行部数】100 部発行
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNS の開設】あり 伏見区社協ホームページ ボランティア情報の発信、イベント、講座情報発信、広報誌掲載/ YouTube チャンネル「伏見区社会福祉協議会」 【その他】京都市福祉ボランティアセンターHP にボランティア情報・イベント情報を掲載
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	災害時要配慮者支援研修の周知・広報
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	伏見区の防災訓練への参画 (1)伏見区総合防災訓練 【日時】令和6年12月8日(日) 9:30-11:00 【参画内容】災害対策会議(見学)/ 災害ボランティア送し出し訓練/ 設置運営訓練(福祉避難所、防災啓発ブースの運営) 【参加者層・数】地域住民、関係組織・団体、区役所職員、京都中小企業家同友会伏見支部約 32 名(設置運営訓練)
	(2)令和6年度災害時要配慮者支援研修「～災害に備える～わたしと地域の防災力の向上」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年3月23日(日) 13:30-15:30 【参加者数】42 名 【内容】自助、共助をはじめ、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	伏見区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和6年12月8日(日) 9:30-11:00 【場所】京都市立桃山中学校 【参加者層・数】京都中小企業家同友会伏見支部、株式会社三井田商事、伏見区社協職員、京都市災害ボランティアセンター等 32 名 【内容】区災害ボランティアセンターの設置運営訓練や啓発ブースを設置し、災害ボランティアセンターの機能をより深く理解する機会の創出。
	実施体制
	【実施体制】職員 4 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談: 月-金 9:00-17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・E メールによる対応
	相談対応内容
4. その他／1 相談コーディネーター事業	【件数】215 件 【主な相談内容】 (1)生活福祉資金の制度について (2)賛助会員募集活動について (3)ボランティア活動について (4)すこやか学級等の地域活動への参加について 等
	コーディネートを伴う事業
	—

事業 談話・ボランティア 4 その他 1 相	ボランティアの把握	合計1,131名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格はなくても市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
	調査・研究活動	—
調査及び研究 4 その他 2	講座・研修等の開催	(1) 【講座名】伏見区ボランティア入門講座 【日時】令和6年11月8日(金)、11月29日(金) 13:30-16:00 【開催回数】2回 【参加者】延べ26名(各回の参加者数: 11月8日(金)17名、11月29日(金)9名) 【内容】 1日目はボランティアの基礎知識の講話やボランティアグループ連絡会(6団体)と伏見区内で活動する団体(2団体)のグループ紹介を行い、2日目は視覚、聴覚に障がいがある方への支援と題し、主に実技体験を行った。 【ボランティア繋がった人数】1名 (2) 【講座名】東稜高校 福祉教育 【日時】令和6年6月6日(木) 12:50-15:20 【開催回数】1回 【参加者】延べ37名 【内容】車椅子体験 (3) 【講座名】京都聖母学院高校 福祉教育 【日時】令和6年9月11日(水)、9月18日(水)、9月30日(月)、10月7日(月)、10月16日(水)、10月30日(水)、11月11日(月)、11月18日(火)、12月11日(水) 10:45-12:35 【開催回数】9回 【参加者】延べ328名(月曜日は高校3年生37名、水曜日は高校2年生36名) 【内容】単発の福祉教育を高校2年生、3年生を対象に計9回実施 (4) 【講座名】稲荷小学校 福祉教育 【日時】令和6年11月14日(木) 9:45-10:30 【開催回数】1回 【参加者】25名(小学6年生) 【内容】車椅子体験 (5) 【講座名】神川小学校 福祉教育 【日時】令和6年11月26日(火) 10:00-13:00 【開催回数】1回 【参加者】102名(小学4年生) 【内容】車椅子体験、伏見障害者授産所より当事者講話 (6) 【講座名】納所小学校 福祉教育 【日時】令和7年2月7日(金) 9:30-12:30 【開催回数】1回 【参加者】39名(小学4年生) 【内容】車椅子体験、認知症サポーター養成講座 (7) 【講座名】ユースアクション 2024 【日時】令和6年7月25日(木)、7月30日(火)、8月7日(水)、8月14日(水)、8月19日(月)、8月20日(火) 【開催回数】6回(うち2回はオリエンテーション) 【参加者】延べ29名 【内容】受入団体(ボランティアねこの手、伏見区老人福祉センター、藤の木セカンドハウス)でのボランティア活動
	区ボランティアセンター運営委員会	【名称】ボランティア委員会 【開催回数】1回 【構成団体数】7団体 【構成団体名】伏見区民生児童委員会、伏見消防団、伏見区ボランティアグループ連絡会、伏見区役所地域力推進室まちづくり推進担当、藤森学区社会福祉協議会、南浜学区社会福祉協議会、伏見青少年活動センター 【議事内容】 (1)令和6年度伏見区ボランティアセンター中間報告について (2)令和7年度の事業計画について (3)伏見区ボランティアセンター貸出備品要項の改正について

4. その他 4 活動者相互の交流の促進	ボランティアグループ連絡会
	【名称】伏見区ボランティアグループ連絡会 【開催回数】10 回 【加入団体数】6 団体 【加入団体名】ボランティアねこの手、手話サークルともだち、花水木の会、朗読ボランティアグループ 京都 YMCA こおろぎ、ぶどうの会、要約筆記サークルかたつむり伏見 【主な議題】 (1)事業報告、事業計画、決算、予算について (2)各グループからの活動状況報告 (3)研修、交流会の企画、実施報告 (4)広報誌の発行について (5)伏見区ボランティア入門講座の企画、参加者データ確認、反省 (6)福祉教育の協力依頼等



令和6年11月8日(金)、11月29日(金)「伏見区ボランティア入門講座」

1 区ボランティアセンター運営事業実施要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(趣旨)

第1条 本要綱は、京都市「区ボランティアセンター運営事業」を市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）が実施するにあたり必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 本事業は、ボランティア活動に参加したい人が誰でも参加できるよう地域住民のニーズを積極的に開拓するとともに、活動に当たって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努めることを目的とする。

(開所)

第3条 区ボランティアセンターの開所日及び開所時間は、毎週月曜日から金曜日の午前9時から午後5時とし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から31日及び1月1日から3日は閉所する。

(実施事業)

第4条 本事業は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) ネットワーキング事業

区域の中間支援センターとして、多様なボランティア・市民活動団体等との協議や交流の場を設け、地域別や課題別、分野別などのネットワークを形成すること

(2) 情報の収集・啓発事業

ボランティア活動に関する各種情報を収集し、広報物やインターネット等を活用して、広く地域住民やボランティア活動者に提供すること

(3) 人材育成・活動参画促進事業

ボランティア活動に関心のある市民や活動者に対し、各種講座の開催や体験学習の場、活動への参加機会を提供し、理解の深まりと活動参画者の裾野拡大を促進すること

(4) 相談・コーディネート事業

ボランティア活動に関する相談に対応するとともに、多様な個人や団体、社会的課題やニーズ等を結ぶコーディネートを行うこと

(5) 活動振興援助事業

活動資金確保のための民間助成財団等の活用サポート、ミーティングスペースや各種資機材の貸出し、活動中の事故に備えたボランティア保険の取次ぎ等、日常の円滑な運営や活動・事業をサポートすること

(6) 災害対策のための環境整備事業

災害時、被災者に対する支援ボランティア活動が円滑に行われるよう、平常時から関係機関・団体等との連携を強化し、人材育成、啓発、ネットワークづくり、マニュアル整備などの環境整備を推進すること

(実施方法)

第5条 前条に定める実施事業については、各区社会福祉協議会（以下「各区社協」）へ委託して実施するものとする。

2 市社協は、各区ボランティアセンター事業への相談、援助、指導を行うものとする。

（委託料）

第6条 前条に規定する事業を行うために必要な経費として、市社協は各区社協に委託料を支払う。

2 本事業の委託料は、上限を213万円とする。

積算は、人件費として113万円、事業費として100万円とする。

3 委託料を受けた区社協が、次の各号のいずれかに該当するときは、市社協は区社協に対して委託料の全部又は一部の返還を求めることができる。

（1）この要綱の規定又は委託契約書の事項に違反したとき

（2）その他、市社協が特に不適当と認めたとき

（計画・報告）

第7条 各区社協は、事業年度開始時に区ボランティアセンター事業に関する事業計画を、ならびに事業年度終了後に事業実施報告書を、それぞれ別に定めるところにより市社協に提出するものとする。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、区ボランティアセンター運営事業に関して必要な事項は別に定める。

附 則

（施行期日）

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

Ⅲ 参 考 資 料



令和6年度発行 月刊誌「ボランティーズ京都」

資料 1

京都市福祉ボランティアセンター実績数値(概況)



IX 調査・研究																
(1)ボランティア・地域福祉活動に関する調査・研究事業の実施																
① 利用登録団体のセンター利用実態調査	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	194
③ 出張・研修	回														0	0
	人														0	0
X センターの運営・管理																
(1)事業の企画および進行管理																
① 京都市福祉ボランティアセンター運営委員会の開催	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		2
	人	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			20
(2)事業評価																
① 事業に関するアンケート調査の実施	回														0	0
(3)施設等の管理・運営																
① 本センターに対する意見集約(コラボレーションシート)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
② 苦情受付	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
③ センター利用促進への取り組み(アンケート調査等)	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0

ボランティア支援部事業

(1)京都市災害ボランティアセンターの共同運営〔再掲〕																
① 京都市災害ボランティアセンター運営会議の開催	回														0	7
(2)災害ボランティアセンター事業の推進〔共同実施〕																
① 研修、訓練、情報提供等の関連事業の実施(視察含む)	回														0	10
	人														0	704
② 他都市被災地に対する後方支援	回														0	2
③ 災害時のボランティア活動の環境整備	回														0	3
④ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回														0	17
	人														0	857
⑤ 京都府災害ボランティアセンターとの連携	回														0	4
(3)福祉の保険の取り扱いと加入の促進																
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の取り扱いと加入の促進																
福祉行事保険(加入者)(累計)	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	人	30,973	43,729													161,643
ボランティア保険(加入者)(累計)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	人	20,334	22,405													31,597
ボランティア保険・行事保険事故件数(累計)	件	上半期合計件(行事保険件、ボランティア保険件)								下半期合計件(行事保険件、ボランティア保険件)					53	53
(4)その他																
① 寄付・寄贈	件														0	63
② きょうと「こどもみらい笑顔便」	世帯	-	-	-	-		-	-	-		-	-			0	246

摘要	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5実績
Ⅰ 区ボランティアセンターとの連携・協働															
(1)連携調整および連携事業の企画・実施															
① ボランティア・地域支援業務(区ボランティアセンター)担当者会議	回	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	6	12
(2)連携・協働による各種事業の企画・実施															
① 各種事業の企画・実施	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
Ⅱ 情報収集・発信															
(1)インターネット等を活用した提供															
① ホームページによる情報発信	件	34	28	45	39	38	38	22	22	73	27	27	13	406	498
② メールマガジンの発行															
(助成金情報)登録(累計) *R7.3現在で688件登録	件	2	3	2	1	0	0	0	0	2	4	0	1	15	6
(助成金情報)発行回数	回	11	12	11	17	12	13	15	13	9	10	13	9	145	90
③ SNSによる情報発信	件	8	6	7	6	8	6	6	5	5	6	5	5	73	103
④ 団体・活動情報サーチシステムの管理運営															
団体・活動情報サーチシステム登録(累計) *R7.3現在で0件登録	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	191
ポラセンホームページへのアクセス	件	2,058	2,424	2,676	2,592	2,601	3,004	3,220	3,037	2,089	2,322	2,313	2,348	30,684	76,062
事業 評価	参考 ※昨年度の実績割	8.7%	8.3%	8.5%	8.6%	7.5%	9.0%	9.0%	8.7%	7.8%	8.7%	8.8%	6.5%	100.0%	100.0%
	目標値(月次) ※昨年度の数値	6,648	6,345	6,438	6,516	5,701	6,848	6,825	6,586	5,903	6,608	6,692	4,952	76,062	78,768
	達成率(月次比較)	↓ 31%	↓ 38.3%	↓ 41.6%	↓ 39.8%	↓ 45.7%	↓ 43.9%	↓ 47.2%	↓ 46.2%	↓ 35.4%	↓ 35.2%	↓ 34.6%	↓ 47.5%	↓ 40.4%	↓ 0%
	達成率(累計比較)	↓ 31%	↓ 34.5%	↓ 36.9%	↓ 37.6%	↓ 39.1%	↓ 39.9%	↓ 41%	↓ 41.7%	↓ 41%	↓ 40.4%	↓ 39.9%	↓ 40.4%	-	-
(2)メディア等との連携															
① メディア(京都新聞等)紹介数	件	-	2	3	1	2	1	1	-	1	1	2	2	16	7
(3)各種広報物の作成・発行															
① ボランティアーズ京都(月刊紙)の発行	部	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000	120,000
② 各種チラシ、リーフレット、冊子等の発行※ボランティア啓発物含む	件	3	2	4	3	4	3	-	2	2	-	-	3	26	44
	部	9,100	1,100	4,500	5,100	8,000	4,500	-	1,100	5,400	-	-	4,500	43,300	44,000
(4)情報の集積と管理															
① 福祉・ボランティア活動に関する資料・書籍・ビデオ数(累計)	件	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,695	2,804	2,859	2,743	2,695
② チラシ配架	件	107	70	97	84	78	95	121	76	99	72	78	76	1,053	1,044
③ 新聞切り抜きデータ	件	12	42	37	52	63	66	36	34	25	34	39	22	462	143

Ⅲ 研修・人材養成	
-----------	--

(1) ボランティア活動希望者および活動者に対する講座等

① Let's ボランティア！ボランティア入門講座の開催 ※偶数月が対面受講者数・奇数月は配信申込者数を計上	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	
	人	5	5	5	33	9	29	10	14	5	24	5	18	162	127
② Let's ボランティア！ボランティア入門講座 スペシャル編	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	8	-
③ Let's チャレンジ! 助成金準備講座	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1
	人	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	27	14
④ グラフィック・レコーディング・セミナーの開催	回	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	4	2
	人	-	-	32	18	-	-	-	-	42	8	-	-	100	50
⑤ 助成金活用セミナー（市民活動総合センターと共催）	回	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	2
	人	-	-	-	-	18	23	-	-	-	-	-	-	41	48
⑥ はじめて主催する人のためのZoom講座の開催	回	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	人	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	9	14
⑦ 助成金活用支援入門講座	回	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	人	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3
⑧ マンツーマンで教わる! シニアのスマホ解決講座	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	18	-	29	12
⑨ 情報発信のコツ講座 今より伝わるチラシの作り方	回	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	25	43
⑩ 情報発信のコツ講座 今より使えるInstagram	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	21	-
⑪ LINEスタンプをつくろう!	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	人	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	13	-

(2)コーディネートに関する研修の実施

[illegible]

IV 福祉教育・ボランティア学習

(1) 福祉教育・ボランティア学習の普及

① 教育現場(小・中・高・大学)等へのボランティア学習支援(講師派遣、研修依頼)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
② 大学等が実施する実習・インターンシップの受け入れ(実習等受入)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	0
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	0

(2) 福祉教育の推進

[illegible]

V	災害ボランティア活動
---	------------

(1) 研修・実践訓練の実施

① 災害ボランティア入門講座	回	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	人	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	35	29	
② 京都市災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0	
	人	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	15	0	
③ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	人	-	12	4	6	6	-	370	131	282	13	15	18	857	17
④ 災害時要配慮者支援に関する研修、訓練、情報提供等	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	42	46

(2) 被災地へのボランティアバスの派遣

[illegible]

(3) 京都市災害ボランティアセンターとの連携 (詳細は「ボランティア支援部」にて記載)

(詳細は「ボランティア支援部」にて記載)

Ⅵ 協働・連携・ネットワーク

(1) ボランティア・NPO団体との協働事業の実施

① kyotoこころつながるプロジェクト	人	-	-	-	-	-	-	-	-	725	-	-	-	-	725	1,935
----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	-------

(2) 企業・団体等の社会貢献活動の促進

[illegible]

(3) 関係団体との連携によるイベント・講座などの開催

① 福祉ボランティアに関連する養成講座等の協力(共催・後援・協力)	件	1	-	1	-	-	1	-	2	-	-	-	1	5	8
	人	32	-	11	-	-	240	-	756	-	-	-	32	1,039	413

(4)各分野・関係センター等との連携

① 大学ボランティアセンター等との連携	件	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2
② 市域レベルの連絡会等との連携	回	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2
③ 他センター委員会等への参加	回	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4	3

Ⅶ 相談:コーディネート

(1) ボランティアに関する相談・コーディネート

[illegible]

Ⅳ 活動促進・サポート

(1)活動のリスク対応に関するサポート

① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の紹介・取り次ぎ	人	(詳細は「ボランティア支援部」にて記載)
---------------------------------	---	----------------------

(2) 財源確保に関するサポート

① 民間助成団体等が実施する助成事業の情報提供・活用の促進

[illegible]

(3) 広報・情報発信に関するサポート

① 情報発信シートの活用による広報・情報発信支援	件	34	28	45	39	38	38	22	22	73	27	27	13	406	497
--------------------------	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

(4) 組織運営、活動充実に関するサポート

① センター施設・設備・備品の貸出し

[illegible]

IX 調査・研究

(1) ボランティア・地域福祉活動に関する調査・研究事業の実施

① 利用登録団体のセンター利用実態調査	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	194	-	194	198
② 出張・研修	回	-	2	3	1	2	1	1	1	1	-	2	-	14	18
	人	-	2	4	5	7	16	1	2	2	-	4	-	43	27

X センターの運営・管理

(1)事業の企画および進行管理

[illegible]

(2)事業評価

① 事業に関するアンケート調査の実施	回	1	3	6	7	2	3	1	4	3	3	4	2	39	0
--------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---

(3)施設等の管理・運営

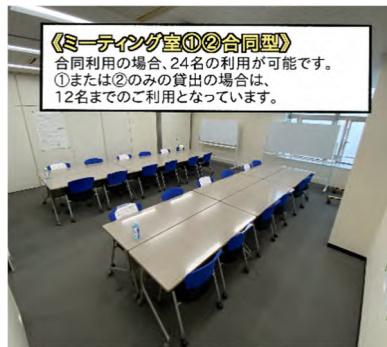
[illegible]

ボランティア支援部事業

(1)京都市災害ボランティアセンターの共同運営〔再掲〕																
① 京都市災害ボランティアセンター運営会議の開催	回	1	1	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	7	12	
(2)災害ボランティアセンター事業の推進〔共同実施〕																
① 研修、訓練、情報提供等の関連事業の実施(視察含む)	回	1	-	3	1	-	-	1	2	-	-	1	1	10	11	
	人	39	-	64	35	-	-	491	24	-	-	9	42	704	891	
② 他都市被災地に対する後方支援	回	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	
③ 災害時のボランティア活動の環境整備	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	5	
④ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回	-	1	1	1	1	-	2	4	2	1	2	2	17	18	
	人	-	12	4	6	6	-	370	131	282	13	15	18	857	1,004	
⑤ 京都府災害ボランティアセンターとの連携	回	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	4	
(3)福祉の保険の取り扱いと加入の促進																
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の取り扱いと加入の促進																
福祉行事保険(加入者)(累計)	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
	人	31,894	34,753	44,203	62,388	71,597	86,652	106,913	135,101	144,880	150,948	156,984	161,643	161,643	1,069,466	
ボランティア保険(加入者)(累計)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
	人	24,051	26,608	27,632	29,071	29,676	30,145	30,783	31,185	31,320	31,419	31,525	31,597	31,597	355,839	
ボランティア保険・行事保険事故件数(累計)	件	上半期合計42件(行事保険10件、ボランティア保険32件)								下半期合計11件(行事保険10件、ボランティア保険1件)				53	73	
(4)その他																
① 寄付・寄贈	件	1	-	-	3	19	2	-	1	23	1	2	12	64	53	
② きょうと「こどもみらい笑顔便」	世帯	-	-	-	-	61	-	-	-	78	-	-	107	246	229	

資料2

京都市福祉ボランティアセンター要綱等



コピー機
用紙不要
枚数が少ない場合や
冊子仕上げにオススメ

	白黒	カラー
利用登録団体のみ	1面 5円	1面 30円

(2023/4/1現在)

印刷機
別途用紙必要
同じ物を大量に
印刷する際にオススメ

	製版	インク代
利用登録団体のみ	1版 30円	50面 5円

(2023/4/1現在)



京都市福祉ボランティアセンター利用要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

（目 的）

第1条 この要綱は、社会福祉法人京都市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、京都市福祉ボランティアセンター条例（以下「条例」という。）及び同条例施行規則（以下「施行規則」という。）に基づいて、福祉に関するボランティア活動等を行う京都市内の団体や個人の活動を支援し、その用に供するため、施設・設備の利用及び備品の貸出し等に関して必要な事項を定める。

（利用者の範囲）

第2条 京都市福祉ボランティアセンター（以下「センター」という。）の施設・設備及び備品を利用できる者は以下のとおりとする。

- （1）福祉に関するボランティア活動等を行う団体・個人。
- （2）（1）に該当する活動を今後行おうとしている、もしくは興味がある団体・個人等。

2 前項に該当する団体・個人であっても、以下の要件に該当する場合は、センターを利用することができない。

- （1）利潤追求を主たる目的とする場合。
- （2）宗教活動を主たる目的とする場合。
- （3）特定の公職者(候補者を含む)または政党の推薦・支持・反対を目的とする場合。
- （4）暴力団またはその関係者。

（施設の種類）

第3条 センター内の利用できる施設は、次のとおりとする。

- （1）ボランティアパーク
- （2）ボランティア情報コーナー
- （3）ミーティング室1・2
- （4）印刷室
- （5）録音室
- （6）ボランティアビューロー

（施設の利用方法と利用時間）

第4条 前条に掲げる施設の利用方法と利用時間は次（別表）のとおりとする。

施 設 名	利用方法	利用できる時間
ボランティアパーク	自由利用	月曜～土曜 9時～21時
ボランティア情報コーナー		日曜・祝日 9時～17時
印刷室		
ボランティアビューロー		
ミーティング室1・2	予約制	月曜～土曜 { 午前（9時～12時） 午後（13時～17時） 夜間（18時～21時）
録音室		日曜・祝日 { 午前（9時～12時） 午後（13時～17時）

（利用の登録）

第5条 前条に掲げる施設のうち、予約が必要な施設を利用できるのは、本会に「施設利用登録申請書」（様式①）により利用登録をし、承認を受けた者とする。

2 本会は利用登録の申請に基づき、承認した団体・個人等に対し「利用登録カード」（様式②）を発行するものとする。

（施設の利用申込み・受付）

第6条 予約が必要な施設を利用しようとする際は、事前に「施設利用申込書」（様式③）を提出し、利用の許可を受けることとする。

2 施設の利用申込みは、利用日の3か月前の同日（休所日の場合はその翌日）から当日まで、窓口において申込書の提出により先着順で受付することとする。また、利用予約は電話やFAX、Eメールによっても申込みことができるものとする。

3 電話やFAX、Eメールにて申込んだ場合は、本申請のために申込日から1か月以内に窓口へ申込書を提出することとする。また、申込書はFAXやEメールによっても受付することとする。期間内に申込書の提出がない場合、申込みは無効とする。

4 受付時間は、センターの開所時間内とする。

5 利用申込み回数は、一つの使用時間帯を1回とし、原則として月曜日から日曜日までの1週間のうち、1回までとする。

6 前項の規定に関わらず利用日の1か月前の同日（休所日の場合はその翌日）に至ってなお申込み状況に空きがあれば、制限回数を超過して申込みすることができる。

7 ミーティング室の利用は、原則として利用人数が12名以下であれば、ミーティング室1・2を同時に使用することはできない。

8 その他複数の施設の同時利用は、利用する内容によってセンター所長が許可するものとする。

(設備の種類)

第7条 各施設に付属する設備は、付属設備一覧【別表1】のとおりとする。

(設備の利用)

第8条 各施設に付属する設備の利用は別に定める“付属設備利用細則”のとおりとする。

(備品の種類)

第9条 センターの備品のうち利用または貸出すことができるものを、貸出し備品一覧【別表2】のとおりとする。

(備品の使用申込み・受付)

第10条 備品を使用しようとする者は、事前に「備品使用申込書」(様式④)〔※パソコンについては「パソコン・プリンター使用申込書」(様式⑤)〕をセンター窓口へ提出することで、使用の許可を受けることとする。

2 備品の使用申込みは、利用日の3か月前の同日(休所日の場合はその翌日)から当日まで、センター窓口において申込書の提出により先着順で受付することとする。また、使用予約は電話やFAX、Eメールによっても申込みができるものとする。

3 電話やFAX、Eメールにて申込んだ場合は、本申請のために申込日から1か月以内に窓口へ申込書を提出することとする。また、申込書はFAXやEメールによっても受付することとする。期間内に申込書の提出がない場合、申込みは無効とする。

4 受付時間は、センターの開所時間内とする。

5 使用後は「備品使用報告書」(様式④)〔※パソコンについては「パソコン・プリンター使用状況報告書」(様式⑤)〕と共にセンターへ返却することとする。

(備品の貸出し)

第11条 ボランティア活動の振興を図るため、第9条に規定する備品の一部をセンター外に貸出すことができるものとする。

2 センター外に貸出しする期間は、原則として1週間以内とする。ただし、センター所長が許可した場合、1か月以内の期間、貸出しを延長することができる。

3 貸出し備品の使用予定会場に同等の備品がある場合は、備品の貸出しは不可とする。また、他の公共施設等において有料で貸出している同等の備品があり、そこで使用する場合、備品の貸出しは不可とする。

(施設・備品の申込みのキャンセル)

第12条 施設・備品の申込みをキャンセルする場合は、原則として前日までにセンターへ連絡することとする。また、申込みのキャンセルは、窓口だけでなく、電話やFAX、Eメールによっても受け付けることができるものとする。

2 やむを得ず当日にキャンセルする場合は、利用開始時刻までに連絡するものとする。

3 無断で利用されなかった場合は、センター所長が次回からの利用を断る場合がある。

(利用料)

第13条 施設・設備及び備品の利用料金については無料とする。ただし、一部設備（印刷機等）の利用については、“付属設備利用細則”に定める実費を徴収する。

(利用の例外)

第14条 センターの管理運営や業務の都合上、前条の規定や申込書の提出・予約の有無に関わらず、センター所長がやむを得ず利用を断る場合がある。

(利用条件・遵守事項)

第15条 施設・設備及び備品等を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 利用時間・貸出し期間を厳守すること。
- (2) 利用した施設・設備及び備品等を現状に回復し、清掃のうえ、センターに終了報告すること。
- (3) 施設・設備及び備品等が故障、破損、停止および消耗品切れ等不都合が生じた場合は、速やかにセンターに報告すること。
- (4) 利用者の不注意（並びに故意）により、備品・設備の故障、破損、紛失、盗難等が認められた場合には、利用団体が相当する費用を弁償することとする。
- (5) 備品の第三者への譲渡、質入れ、転貸等の処分、並びに改造、改装は利用団体が相当する費用を弁償するとともに利用を停止し、以後の利用を禁止する。

(付 則)

第16条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は京都市社会福祉協議会会長がこれを定める。

2 この要綱は、平成15年6月23日より施行する。

この要綱は、平成19年5月1日より一部改正する。

この要綱は、平成23年4月1日より一部改正する。

この要綱は、平成25年4月1日より一部改正する。

この要綱は、令和2年4月1日より一部改正する。

この要綱は、令和4年2月1日より一部改正する。

この要綱は、令和4年6月1日より一部改正する。

付属設備利用細則

京都市福祉ボランティアセンター

○ ボランティアパーク付属設備

(1) コインロッカー（団体貸出し用）の利用について

- ① コインロッカーの鍵はセンターが管理することとし、センターは「ロッカーカード」（様式⑥）を5枚作成して利用団体に渡すこととする。
- ② 鍵の受渡しに際して、センターは「ロッカーカード」を持参した利用者のみに対して鍵の受渡しを行うこととし、その都度の身分確認は行わないため、利用団体は「ロッカーカード」を自己責任において厳重に管理することとする。
- ③ コインロッカー利用後は、速やかに鍵をセンターに返却し、「ロッカーカード」を受取ることとする。
- ④ 「ロッカーカード」を紛失した場合には、速やかにセンターに届け出るものとする。
- ⑤ コインロッカーの利用目的は、印刷物・印刷用紙等の一時保管、その他活動に関わる荷物の一時保管とし、貴重品、危険物、生もの等をロッカーに保管してはならない。
- ⑥ 緊急時等、センター所長が必要やむを得ないと判断した場合には、利用団体の了承なしにコインロッカーを開けることができるものとする。
- ⑦ ロッカー及び鍵を故意または過失により損傷・紛失等した場合は、実費弁償することとする。
- ⑧ 利用に伴う事故及び荷物の紛失等について、センターは一切の責任を負わないものとする。
- ⑨ その他利用にかかる詳細や必要事項については、その都度センター長が別途定める。

(2) 掲示板・情報ラックの利用について

- ① ボランティアパーク内の掲示板・情報ラックへの、チラシ・パンフレット・ポスター等の掲示・掲出依頼は「配架依頼」（様式⑦）により、センター窓口または郵送にて受付ける。
- ② 掲示・掲出の可否および場所については、センターが決定する。
- ③ 掲示・掲出を行う期間は、イベント等の期日が決定しているものについてはその当日まで、その他のものについては受付日より3ヶ月間とする。
- ④ チラシ・パンフレットの受付け部数が無くなった場合、掲示・掲出の期間内であっても、基本的にセンターでの補充は行わない。

○ ボランティア情報コーナー付属設備

(1) 各種資料・図書の利用について

- ① ボランティア情報コーナーにおける各種資料・図書は閲覧専用とし、センター外への持

出しを禁止する。

(2) パソコン・プリンターの利用について

- ① パソコン、プリンターの利用については、センター窓口において「パソコン・プリンター使用申込書」(様式⑤)を提出することで、利用できるものとする。利用希望者が複数いる場合は、先着順とする。
- ② 利用後は「パソコン・プリンター使用状況報告書」(様式⑤)と共にセンターへ返却することとする。

○ 印刷室・録音室附属設備

(1) 印刷機・コピー機・丁合機・紙折機・断裁機・点字プリンター等の利用について

- ① 印刷室に付属する設備は、基本的に予約なしでも利用できることとするが、印刷機についてのみ必要に応じて利用予約を受付けることとし、その受付方法は利用要綱第6条の第3項・4項を適用する。
- ② 印刷機を利用するものは、各自で用紙を持込むこととする。
- ③ 印刷・コピー・プリントアウトは、ボランティア・市民活動に関するものに限る。

○ 印刷機・コピー機・プリンター・点字プリンター・大型プリンターの利用料金について
利用の際は、実費の一部として以下の料金を徴収する。

		利用登録承認団体等	左項以外の利用者
印刷	製版代	3 0 円／版	×
	インク代	印刷 5 0 面につき 5 円	
コピー	黒	5 円／面	
	カラー	3 0 円／面	
電動ホッチキス		無料	
デスクトップ PC &プリンター（黒）		5 円／面	
点字プリント		専用用紙 1 枚につき 5 円	

付則

この細則は、平成25年4月1日より施行する。

この細則は、令和2年4月1日より一部改正する。

この細則は、令和5年5月1日より一部改正する。

この細則は、令和6年4月1日より一部改正する。

【別表 1】

付属設備一覧

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

センター施設に付属する設備は以下の表のとおりとする。

令和5年3月31日現在

施 設 名	付 属 設 備
ボランティアパーク	机、椅子 コインロッカー（団体貸出し用） 掲示板、情報ラック 血圧計、サーキュレーター
ボランティア情報コーナー	机、椅子 パソコン（デスクトップ）、プリンター 大判プリンター 書架（図書・雑誌・その他資料）
ミーティング室１・２	机、椅子 ホワイトボード、プラズマディスプレイ スクリーン、映写台 サーキュレーター、オゾン除菌消臭器
印刷室	作業机、椅子 コピー機、印刷機 丁合機、紙折り機 断裁機、電動パンチ
録音室	机、椅子 録音機器 点字プリンター
ボランティアビューロー	机、椅子 保管庫（団体貸出し用） 掲示板、情報ラック
ボランティアセンター カウンター	電子レジスター、デジタルはかり 音声翻訳機、電子メモパッド（筆談用） カウンター型ヒアリングループシステム 非接触型体温計、オゾン除菌消臭器

【別表 2】

貸出し備品一覧

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

センターの貸出し備品は以下の表のとおりとする。

令和 5 年 3 月 3 1 日現在

備品名	付属品	備考	収納場所	交流館外貸し出し
液晶プロジェクターNo. 1	電源コード、3 色 AV ケーブル、RGB ケーブル、HDMI ケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	可 (ただし 館内会議室 等での 使用不可)
液晶プロジェクターNo. 2	電源コード、3 色 AV ケーブル、RGB ケーブル、HDMI ケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	
液晶プロジェクターNo. 3	電源コード、3 色 AV ケーブル、RGB ケーブル、HDMI ケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	
ブルーレイプレーヤーNo. 1	HDMI ケーブル、音声ケーブル、リモコン、電源コード		3F 倉庫	
ブルーレイプレーヤーNo. 2	HDMI ケーブル、音声ケーブル、リモコン、電源コード		3F 倉庫	
DVD/ビデオプレーヤーNo. 1	電源コード、リモコン、AV ケーブル	ステレオ	3F 倉庫	
DVD/ビデオプレーヤーNo. 2	電源コード、リモコン、AV ケーブル	ステレオ	3F 倉庫	
マイクセット (ワイヤレスアンプ+マイク×3)	ワイヤレスマイク×2、有線マイク×1		3F 倉庫	
OHC No.1	電源コード、リモコン		3F 倉庫	可
OHC No.2	電源コード、VGA ケーブル、USB ケーブル、マウス、リモコン	PC に利用可	3F 倉庫	
スクリーン No. 1 (122cm×91 cm)	収納ケース (12x11x141cm)	60 インチ 6.4 k g	3F 倉庫	
スクリーン No. 2 (162cm×122 cm)	収納ケース (12x14x176cm)	80 インチ 8.9 k g	3F 倉庫	
スクリーン No. 3 (162cm×122 cm)	収納ケース (12x14x176cm)	80 インチ 8.9 k g	3F 倉庫	
ヒアリングループ No.1	アンプ本体、ループ		3F 倉庫	
ヒアリングループ No.2	アンプ本体、ループ		3F 倉庫	
カウンター型 ヒアリングループシステム	アンプ本体、パネル式ループアンテナ、フレキシブルマイク、タイピン型ワイヤレスマイク、受信機、ロッドアンテナ		3F 倉庫	
ドラムコード (屋外用 30m)			3F 倉庫	
車イス 12 台 (No. 1～No. 12)			1F 倉庫	
外付けスピーカー	電源コード	PC 他に利用可	3F 倉庫	
ウィンドウズ PC ノート型 (※) ×6	電源コード、マウス		3F 受付	不可
CD カセットデッキ	電源コード		3F 倉庫	

(※) ウィンドウズ PC ノート型 (2 台) には視覚障害者向けのソフトとして、EXTRA for Windows Ver. 6 が導入されています。

京都市福祉ボランティアセンター運営委員会要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(設 置)

第1条 社会福祉法人京都市社会福祉協議会(以下「本会」という。)の定款第20条「部会及び委員会」に基づき、京都市福祉ボランティアセンター(以下「センター」という。)の運営を円滑に行い、かつボランティア推進団体相互の協働と連携を促進するため京都市福祉ボランティアセンター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。

(構成並びに役員)

第2条 運営委員会の委員は、次に掲げる者の中から、本会会長が委嘱する。

- (1)京都市社会福祉協議会関係者
- (2)区ボランティアセンター関係者
- (3)ボランティア・市民活動推進団体関係者
- (4)福祉団体・施設関係者
- (5)企業団体等関係者
- (6)マスコミ・報道機関関係者
- (7)学識経験者
- (8)行政関係者
- (9)本センター利用登録団体

2 運営委員会に次の役員を置く。

- (1)運営委員会に委員長1名、副委員長若干名を置き、本会会長が指名する。
- (2)委員長は会務を総括し、委員長に事故あるときは副委員長が職務を代行する。

3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者の出席を求めることができる。

(運営委員会)

第3条 運営委員会の会議は、年2回以上開催し、委員長が招集しその議長となる。

2 運営委員会は、次の事項について協議し、必要な事項を本会会長に建議する。

- (1)センター事業の企画立案に関すること
- (2)センターの事業計画・報告、予算・決算に関すること
- (3)センター事業の進行管理、評価に関すること
- (4)センターの施設・設備の利用促進と整備・充実に関すること
- (5)その他、センター事業に係る事項に関すること

(課題別委員会)

第 4 条 センター事業の遂行上必要と認められる場合、運営委員会のもとに課題別委員会を設置することができる。

- 2 課題別委員会の委員は、運営委員会の委員の中から委員長がこれを委嘱する。但し、必要に応じ運営委員会の委員以外の者に委嘱することができるものとする。
- 3 課題別委員会の体制・運営・任期等については、運営委員会の協議を経て、その都度委員長がこれを定めるものとする。
- 4 課題別委員会の協議内容については、適宜委員長に報告するものとする。

(委員の任期)

第 5 条 運営委員会の委員の任期は、2 年とし、本会役員在任期間と同等とする。但し、再任は妨げない。

- 2 委員の欠員補充により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第 6 条 運営委員会の事務局は、京都市福祉ボランティアセンターに置く。

(委 任)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、本会会長が定める。

付 則

この要綱は、平成 15 年 5 月 28 日より施行する。

平成 24 年 1 月 25 日より一部改定する。

ボランティア・市民活動に関する情報収集・発信事業 実施要綱

京都市福祉ボランティアセンター

1. 趣旨

京都市におけるボランティア・市民活動の中核である京都市福祉ボランティアセンター（以下、「センター」という。）として、ボランティアに関する各種情報を広く一般市民に向けて発信することにより、ボランティア活動の振興と促進を図ることを目的とする。

2. 内容

ボランティアに関する各種情報を下記の方法により発信する。なお、情報発信方法は情報の種類により原則としてセンターで判断する。

- (1) センターホームページ
- (2) メールマガジン
- (3) 月刊紙、季刊誌
- (4) チラシ、ポスター類の掲出・掲示
- (5) テレビ・ラジオ等のマスメディア

3. 発信できる情報

- (1) 団体情報
団体（ボランティアグループやNPO等の活動団体）の概要
- (2) イベント情報
団体が実施する講演会、研修、シンポジウム、展示会等に関する情報
- (3) ボランティア・スタッフ募集情報
団体が募集するボランティアやスタッフに関する情報
- (4) ボランティア・人材提供情報
団体が派遣・提供するボランティア等に関する情報
- (5) 寄付金・物品募集情報
団体が募集する物品、募金、寄付金等に関する情報

4. 発信できない情報

次のうちのいずれかに該当する情報は発信しない。

- (1) 他人を誹謗、中傷し又は差別するもの
- (2) 他人のプライバシーを侵害するもの
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害するもの
- (4) 犯罪行為を誘発するようなもの
- (5) 営利を目的とする広告、宣伝等
- (6) 選挙運動等の政治活動を目的とするもの

- (7) 布教等、宗教活動を目的とするもの
- (8) 法令等に違反、もしくは違反するおそれのあるもの
- (9) わいせつ、残虐等、公序良俗に反するもの
- (10) その他、情報発信事業の趣旨に反するもの

5. 備考

- (1) 次のうちのいずれかに該当する場合、事前に通告することなく情報提供を中断することがある。
 - ①ホームページ、メールマガジンのシステムの保守点検を定期的又は緊急に行う場合
 - ②火災、停電等により情報提供ができなくなった場合
 - ③天災地変等により情報提供ができなくなった場合
 - ④その他、センターが一時的な中断が必要と判断した場合
- (2) 各種情報発信方法における情報の変更、中止、中断等又は掲載した情報により団体が被った損害に対し、センターは一切の責任を負わない。また、団体が掲載した情報により第三者に損害が生じた場合は、当該団体の責任において対応することとする。

附 則

この要綱は平成16年6月18日より施行する。

運用ポリシー

開設所属	京都市福祉ボランティアセンター
発信情報	(1) 本センターが実施する事業の告知・報告等 (2) 本センターが発信しているボランティア募集やイベント情報
利用目的	幅広い世代に向けて情報発信を強化し、ボランティア活動への参加を促進するため。
利用するソーシャルメディアの種類	☒ ツイッター ☒ フェイスブック ☒ その他 (インスタグラム)
アカウント	京都市福祉ボランティアセンター
登録URL	(ツイッター) https://twitter.com/kyoto_vora (フェイスブック) https://www.facebook.com/京都市福祉ボランティアセンター-1347786861957064/ (インスタグラム) https://www.instagram.com/kyotocityvinfo/?hl=ja
運用期間	平成29年10月3日 ～ 年 月 日
運用時間	月曜日から金曜日までの9時00分から17時00分までとします。(土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除く)。ただし、それ以外の時間に発信する場合があります。
投稿に対する返信	運用者は必要に応じて回答を行います。ただし、運用者が全ての投稿を閲覧し投稿に対して回答することを保証するものではありません。
備考	令和5年3月 インスタグラムを追加

(その他)

1 注意事項

以下に定める投稿は禁止しておりますので、予告なく削除することがあります。

- (1) 法律、法令等に違反する内容、又は違反するおそれがあるもの
- (2) 特定の個人・団体等を誹謗 中傷するもの
- (3) 政治、宗教活動を目的とするもの
- (4) 著作権、商標権、肖像権など京都市社会福祉協議会又は第三者の知的所有権を侵害するもの
- (5) 広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利を目的とするもの
- (6) 人種・思想・信条等の差別又は差別を助長させるもの
- (7) 公の秩序又は善良の風俗に反するもの
- (8) 虚偽や事実と異なる内容及び根拠のないもの
- (9) 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいする等プライバシーを害するもの
- (10) その他京都市社会福祉協議会が不適切と判断した情報及びこれらの内容を含むホームページへのリンク

2 知的財産権

当ページに掲載している個々の情報（テキスト、画像等）に関する知的財産権は、京都市社会福祉協議会又は原作者に帰属します。また、内容について「私的使用のための複製」や「引用」など著作権

法上認められた場合を除き，無断で複製・転用することはできません。

3 免責事項

- (1)京都市社会福祉協議会は，利用者間もしくは利用者と第三者間のトラブルにより，利用者又は第三者に生じたどのような損害についても，一切の責任を負いません。
- (2) 京都市社会福祉協議会は，予告なく運用ポリシーの変更や運用方法の見直し又は運用を中止する場合があります。

資金収支計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収入支	収入			
	0296 受託金収入	74,897,000	74,897,000	
	8041 市受託金収入	74,897,000	74,897,000	
	0201 その他の収入	500,000	494,735	5,265
	0320 雑収入	500,000	494,735	5,265
	事業活動収入計(1)	75,397,000	75,391,735	5,265
	支出			
	0129 人件費支出	43,177,000	43,177,000	
	7112 職員給料支出	28,527,000	28,527,000	
	7113 職員賞与支出	8,190,000	8,190,000	
	7117 法定福利費支出	6,460,000	6,460,000	
	0130 事業費支出	19,150,000	18,678,398	471,602
	7211 諸謝金支出	1,160,000	1,159,784	216
	7213 消耗器具備品費支出	2,462,000	2,461,325	675
	7214 印刷製本費支出	2,525,000	2,478,711	46,289
	7218 修繕費支出	300,000	195,710	104,290
	7219 通信運搬費支出	1,828,000	1,785,442	42,558
	7222 広報費支出	3,978,000	3,924,800	53,200
	7223 業務委託費支出	6,791,000	6,620,076	170,924
	7225 保険料支出	56,000	25,490	30,510
	7226 賃借料支出	50,000	27,060	22,940
	0131 事務費支出	9,170,000	8,768,450	401,550
	7311 福利厚生費支出	100,000	79,190	20,810
	7313 旅費交通費支出	125,000	102,670	22,330
	7314 研修研究費支出	196,000	188,450	7,550
	7315 事務消耗品費支出	1,299,000	1,256,986	42,014
	7316 印刷製本費支出	500,000	461,067	38,933
	7317 光熱水費支出	2,130,000	2,106,987	23,013
	7319 修繕費支出	100,000	4,300	95,700
	7321 通信運搬費支出	750,000	736,600	13,400
	7325 手数料支出	10,000	1,100	8,900
	7326 保険料支出	5,000		5,000
	7327 賃借料支出		-40,370	40,370
	7328 租税公課支出	3,905,000	3,863,000	42,000
	7329 雑支出	50,000	8,470	41,530
	事業活動支出計(2)	71,497,000	70,623,848	873,152
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,900,000	4,767,887	-867,887
施設整備等による収入支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	0144 固定資産取得支出	1,600,000	1,562,000	38,000
	7524 器具及び備品取得支出	1,600,000	1,562,000	38,000
その他の活動による収入支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	0160 拠点区分間繰入金支出	2,300,000	3,199,000	-899,000
その他の活動による収入支	7672 拠点区分間繰入金支出	2,300,000	3,199,000	-899,000

資 金 収 支 計 算 書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位 : 円)

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
る 収 支				
	その他の活動支出計(8)	2,300,000	3,199,000	-899,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,300,000	-3,199,000	899,000
予備費支出(10)			—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			6,887	-6,887
前期末支払資金残高(12)		32,373,000	32,373,789	-789
当期末支払資金残高(11)+(12)		32,373,000	32,380,676	-7,676

令和6年度（2024年度） 京都市福祉ボランティアセンター事業年報

発行：京都市福祉ボランティアセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1（河原町五条下る東側）

「ひと・まち交流館 京都」3階

TEL：075-354-8735 FAX：075-354-8738

E-mail：v.info@hitomachi-kyoto.jp

URL：<https://v.hitomachi-kyoto.jp>